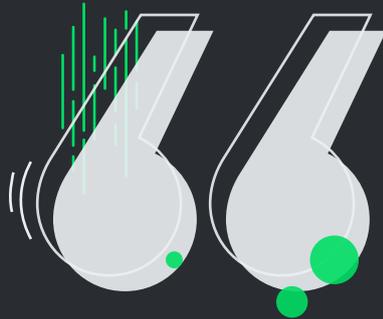


テゾス財団半 期更新活動報 告書

2021年9月



テゾスの7回にわたるアップグレード対応は、2014年に示されたビジョンの優れた適応力を証明しており、これがテゾスプロトコルの持続可能性と安定的な成長を可能にしています。
これこそがテゾスの長所です。その未来はグローバルコミュニティの手に委ねられています。

はじめに

テゾス コミュニティ各位

テゾスプロジェクトは今年3月の半期更新活動報告書の発行以来、目覚ましい成長を遂げるとともに更なる盛り上がりを見せています。この“デジタルルネサンス”の急進が続く中、NFTやDeFiへの需要はますます高まっており、いまだかつて見られないほど多くのユーザーが、テゾスに着目しています。

テゾスはその適応力と革新力において常に先進的存在であり、持続可能性やセキュリティの新たな基準を掲げていくことに大いなる誇りを感じています。Liquid Proof of Stake (LPoS) を採用する暗号通貨としてテゾスが推し進める二酸化炭素排出量削減の取り組みは、開発者とユーザーの両方が持続可能性を損なうことなく革新を推進できるあり方を示しています。テゾスの特徴である低エネルギー消費や低ガス料金は最たる例であり、テゾスがクリーンなNFTの発行・ホスト・取引に非常に信頼できるプラットフォームとして認められる所以です。

レッドブル・レーシングやマクラーレン・レーシング、OneOfといった会社やブランドは、ファンに向けたNFT経験の構築に、テゾスを採択しています。こうした会社やブランドが皆、ネットワークの二酸化炭素排出量削減やオンチェーンガバナンスといった要素に鑑み、並みいるパートナー候補の中からテゾスを選んだと語っています。

この6か月間でみられた目覚ましい成長そのものが、テゾスの優れた持続可能性とセキュリティの確かさを示しており、こうして結ばれてきた技術的なパートナーシップがテゾスコミュニティを一層大きくする機会を作り出しています。

DeFiの急激な成長もテゾスの導入拡大に貢献しました。ここ数か月をみても、テゾスは欧州中央銀行やシンエテ・ジェネラル・フォージといった大手金融機関に

採択され、金融サービスの未来を形作るサポートとなっています。テゾスのオンチェーンガバナンスには、特に金融サービス機関からの関心が寄せられています。シームレスに実装できるというだけでなく、テゾスがフォークレスなアップグレードをしていくことで、ステーキングや未来型イノベーションを直接顧客に提供できるという点に着目しているのです。

テゾスの発行開始からすでに3周年を迎えますが、このプロジェクトの成長とこれまでの素晴らしい業績を忘れてはなりません。テゾスは今までに7回にわたるネットワークアップグレードを行いました。その中で、ガス料金を70%も引き下げ、トークン規格を改良し、取引スピードを高め、9月単月だけでも540万を上回る取引を達成しています。

この報告書では、2021年2月から7月の期間で新たに資金提供を受けた、33か国の119の助成金受給者/団体をご紹介します。この度紹介するプロジェクトのうち56%は、テゾスエコシステムに初めて参加することになります。この方々のテゾスに対するアイデアや意見、そして熱意を称えたいと思います。

いよいよ、テゾスの未来は、元来そうあるべく築かれてきたグローバルコミュニティの手に委ねられています。私たちはグローバルコミュニティと力を合わせて、テゾスの業績を足掛かりに、これからも斬新かつ革新的なアイデアを紹介し、世界中の何億もの人々が最先端のブロックチェーンを体験できるよう尽力してまいります。

テゾス財団理事会

目次

はじめに

3

テゾス財団の役割

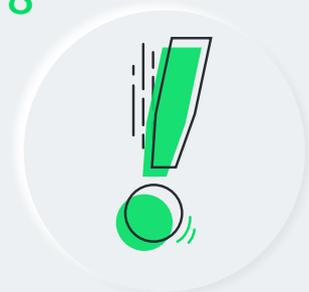
5

テゾスの過去6か月の軌跡

6-7

実績と数字

8



助成金

9

優先順位とプロセス

10

助成金受給者およびその他の受給団体・組織

13

研究・教育コア開発
助成金

14

エコシステム - ツール・およびアプリケーションの助成金

19

コミュニティ助成金

39

産業への活用

43

産業への活用 ー 協業の
推進

44

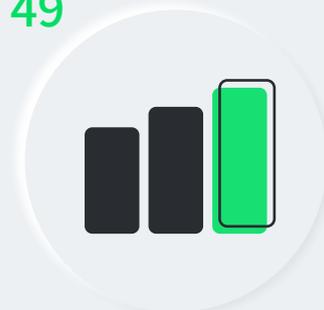
**テゾスエコシステム
の世界地図**

47



ファイナンシャル

49



ガバナンス

53

**テゾス財団の理事
と委員会**

54



財団理事会

55

財団委員会

57

テゾス財団の役割

分散型ネットワークの成功は、堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの努力にかかっています。
テゾス財団はこのエコシステムを支える存在です。



テゾス財団はスイスを拠点とする財団でスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にテゾスプロトコルと関連技術を開発し、世界中で推進することを目的としており、その活動として、最新分散型ソフトウェアのオープンソースアーキテクチャ分野における、新しい技術とアプリケーションなどがあります。

テゾスのポジションペーパーでも強調されているように、分散型ネットワークの成功は、堅実で多様性に富んだ活発なコミュニティの努力にかかっています。テゾス財団は、開発者、科学者、ネットワーク検証者（“ベーカー”）、支援者、そして将来的にグローバルなイノベーションを推進しようとプラットフォームの成功に向けて取り組んでいる他の多くの人々と共に、このエコシステムを支えています。

テゾス財団は、その使命を追及するなかで、テゾスのプロジェクトの長期的な未来を支えるためにリソースを駆使します。世界中の教育研究機関、開発者、活動家などのコミュニティメンバーがテゾスのプロジェクトを推進できるよう、助成金やその他の資金分散方法で戦略的に支援します。

テゾスの可能性はコミュニティに委ねられています。当該コミュニティは、ブロックチェーンカテゴリの中でも最も強固で優れたもののひとつです。この分野の関係者であれば誰でもテゾスのコミュニティに参加して、プロジェクトに貢献できます。

テゾスはデジタルにつながった世界で貨幣を保有・交換することの意味を再考させるスマート通貨です。省エネでセルフアップグレードに対応するProof of Stake (PoS) ブロックチェーン技術としてすでに確立された実績を持ち、今日みられるネットワークの中断に影響を受けることなくシームレスに未来のイノベーションを採り入れます。単一の会社が“テゾス”を所有、運営、管理することはありません。このパラダイムを理解しなければなりません。

テゾスの過去6か月の軌跡

エコシステムから抜粋のイベント



2021年2月

2021年2月3日

The Blockchain Group、テゾスで企業ベーカーとなり、テゾスのセキュリティとガバナンスを積極的にサポート。

2021年2月25日

RadionFM、テゾスで初のMP3 NFTを発行し、音楽ライセンスングと所有権管理を分散化。

2021年3月



2021年3月1日

テゾスがWolfram Blockchain Labsとの統合を通じて、新たなオラクルを取得。

2021年3月21日

TQ Tezosの子会社Interpopを設立。クリーンNFTを使用したファンダムの再考に注力。

2021年3月31日

QuipuSwapを立ち上げ。テゾスのエコシステム上で各種トークンのシームレスな交換を可能にするインターフェースを提供。



2021年4月

2021年4月21日

Agile Venturesによるテゾスドメインを立ち上げ。テゾスのアドレスをユニークエイリアスに変換する処理を容易にするネーミングサービスを提供。

2021年4月26日

Bender Lab、イーサリアムとテゾスのブリッジ通貨を立ち上げ、ETHとXTZトークンの取扱いを促進。

2021年5月



2021年5月4日

SmartCrowd、不動産セキュリティトークンオファリング (Security Token Offering, STO) でテゾスブロックチェーンとの統合を発表。不動産のフラクショナルオーナーシップ (分割所有) 向けに、中東で初の規制デジタル投資プラットフォームを提供。

2021年5月20日

McLaren F1レーシングチームとテゾス、複数年有効の技術パートナーシップを締結し、NFTにテゾスブロックチェーンを活用。

2021年5月27日

Tezos ProfilesをSpruce Systems, Inc.が立ち上げ。最新のW3C標準を用いて、テゾスのエコシステムに分散化アイデンティティ (DID) を取り込み。

2021年7月



2021年7月8日

Gitcoin、テゾスを組み込み、賞金総額は75,000米ドルに上る初のテゾスハッカソンを発表。

2021年7月20日

Ipocamp、知的財産ソリューションの開発にテゾスを選定。各種ファイル形式向けタイムスタンプをテゾスのエコシステムに取り込み。

2021年6月



2021年6月8日

グローバルリーダーのHugeが、テゾスのエコシステムでテゾス財団と協働するマーケティングエージェンシーに指名される。

2021年6月17日

McLaren F1レーシングチームとテゾス、複数年有効の技術パートナーシップを締結し、NFTにテゾスブロックチェーンを活用。

実績と数字

2021年3月以降のテゾス財団のハイライト抜粋

4回目

となるPwCによる独立外部監査完了回数

4~5

件/週の助成金申込み

1,212

米ドル (単位:百万) の資産
(2021年7月30日時点)



33か国の助成金受給者の拠点国数

233,9

米ドルの支給確約額



180件以上の申請提案依頼書中、受入割合は69%

助成金



助成金 – 優先順位とプロセス

テゾス財団の主要な活動は、テゾスの長期的な成功を実現するためのリソースを企業やイニシアチブに提供することです。テゾス財団は3つの助成金のカテゴリに焦点を当てています。

研究・教育、コア開発助成金

テゾスに関するイノベーション、開発、教育を促進します。これらの助成金には、オンライントレーニングコースからコアプロトコルの開発まで、さまざまなプロジェクトが含まれます。

エコシステム – ツール・アプリケーションの助成金

エントリーへの壁を低くして、開発者や後続のアプリケーションのエンドユーザーがテゾスを利用できるようにします。

コミュニティ助成金

テゾス財団が属するテゾスコミュニティを強化し、成長に導く組織やイニシアチブをサポートします。

財団の助成金プラットフォームの立ち上げに伴い、さまざまな関心分野が発表されました。テゾスコミュニティにおける経験を踏まえて、私たちはこれらの分野が現在のところテゾスエコシステムに非常に有益であると捉えており、時間とともに変化する、調整されることを期待しています。半期更新活動報告書でこれまで述べてきたこの3つの包括カテゴリを違えることがないようにする一方で、この度の発行では、一部の関連分野が下位区分として加えられました。具体的には収集品やクリエイターのトークン化、クラウドファンディング、DeFi関連プロジェクトなどです。

助成金プラットフォームでは、関連分野で、優先度の高い分野には指定されていなくても、テゾスエコシステムを向上させる可能性のある提案を継続して提出することができます。

助成金申請の評価プロセス

助成金申請書は4つのステップを経て評価されます。各ステップの具体的な内容は以下に詳述しています。

ステップ 1

どなたでも、随時プロジェクトに申請することができます。テゾス財団のウェブサイトに掲載のリンクで、助成金プラットフォームに移動してください。[こちらをクリック](#) → 申請書を受領後、その内容について、テゾス財団の正式かつ実質的な要件を満たしているかどうかを審査します。審査は、テゾスエコシステムに属する貢献者数人で行われます。技術諮問委員会（TAC）は、審査員の透明性に努めており、潜在的な利益相反を適切に管理しています。



ステップ 2

第1審査を通過した申請書は、テゾス財団のTACに送られ、技術的なデューデリジェンスと評価が行われます。現在のTACメンバーのリストは、財団のウェブサイトでご覧いただけます。TACは助成金自体を決定するのではなく、申請内容の技術的強みとテゾスエコシステムへの有用性についてアドバイスを提供します。



ステップ 3

TACから肯定的な推薦を受けた助成金申請に関しては、デューデリジェンスプロセスを完了後、執行委員会またはテゾス財団理事会が助成金申請の承認、却下あるいは修正などの最終決定を下します。



ステップ 4

テゾス財団が助成金申請に関する最終決定を下した後、その結果を申請者に通知します。助成金申請が承認されなかった場合は、テゾス財団は申請者に対しフィードバック概要をお知らせします。助成金が交付される前に、承認された申請者はテゾス財団と協力して法的書類を準備します。

状況によっては、プロジェクトがテゾスエコシステムにとって非常に重要な場合、テゾス財団はアプリケーションをオフサイクルのプロセスで押し進めます。これらのアプリケーションは迅速に処理されますが、同じデューデリジェンスプロセスを受け、同様の承認が必要になることに注意してください。

助成金は通常、複数回に分けて支払われます。あらかじめ定められたマイルストーンが確実に達成されるよう、支払いスケジュールに準じて分割払いを行います。テゾス財団は支払いを管理し、予定されている後続の支払いの前に受給者からのマイルストーンレポートを評価します。技術的な評価が必要な場合、このプロセスにTACが関与する場合があります。テゾス財団は、成果不足のプロジェクトに対して支払いを継続しない場合もあります。



400

=



25

テゾスのネットワークを守り、400名のベーカーと共に1年間取引を処理するには、欧州市民25人が1年間に排出する温室効果ガスに匹敵するエネルギーが必要でした。

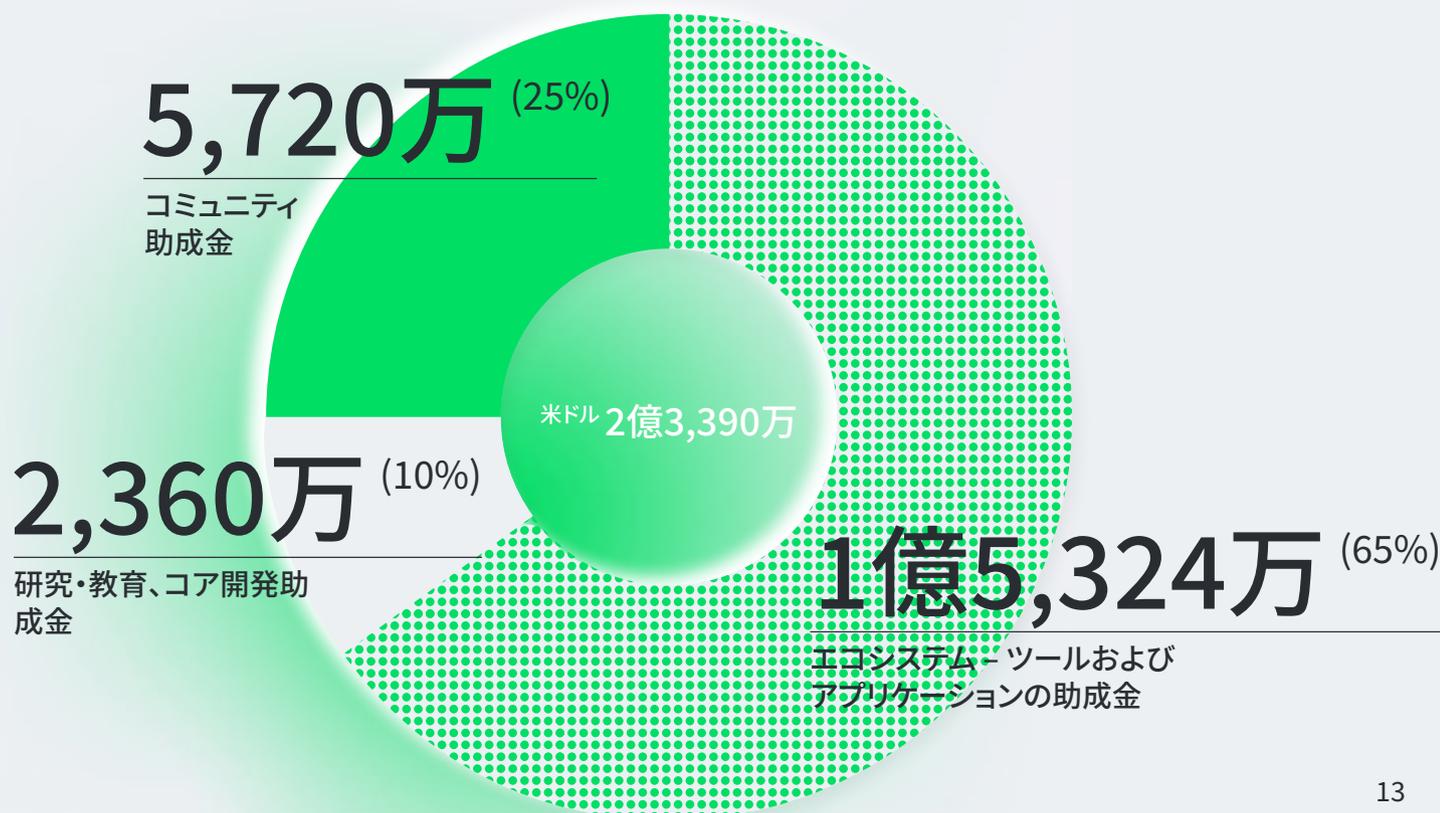
この数字は、2020年のベーカーと取引の予測に基づいて算出しています。

テゾス サステナブル ブロックチェーン。

受給者とその他の受給 団体・組織

前回の半期更新活動報告書（2021年3月）以降、テゾス財団は33か国で119件の新たなプロジェクトに総額2億3390万米ドルの資金を投入しました。119件の新規助成金のうち、67件（56%）はこれまで助成金を受けたことのない団体または個人に対して支給されました。

過去に助成金を受給して、現在も活動中のプロジェクトの中には、本半期更新活動報告書に掲載されていないものもあります。過去の助成金については、テゾス財団の前回の半期更新活動報告書をご覧ください。また、相互の秘密保持契約（NDA）に基づき、一部の締結内容は記載されていないものもあります。



研究・教育、コア開発助成金

テゾス財団は、分散システム、暗号化、プログラミング言語、形式検証など、コンピューターサイエンスに関連する幅広いドメインに関する研究と教育をサポートしています。リソースの多くは、世界中のハイレベルな機関や組織の科学者やエンジニアのサポート、さらに将来の才能を育成するための教育プログラムに充てられています。これらのイニシアチブおよびコアプロトコルの開発に貢献するその他のイニシアチブを、テゾス財団は最優先としてします。

受給者とその他の受給団体・組織：

コア開発

- Bolt Labs、米国
- ダイラムダ株式会社、日本
- Marigold、フランス
- Metastate、スイス
- Nomadic Labs、フランス
- Tarides、フランス

研究・教育

- B9lab、英国
- Cryptoverse Wars、インド
- Dacade/Unit U+2467、ドイツ

- Figment Networks、カナダ
- Kestrel Institute、米国
- 名古屋大学、日本
- OCamlLabs Consultancy、英国
- OCTO Technology、フランス
- Pretty Buttons/Stove Labs、スロバキア
- Segfault Systems、インド
- Spruce Systems, Inc.、米国
- Supranational、米国
- University of Freiburg、ドイツ
- ViableSystems、スロバキア (旧: SimpleStaking、マルタ)

合計: 米ドル **236万**

組織・カテゴリごとの契約上の計算された月間バーンレート：

- 50万米ドル超
- 20万米ドル以下
- 50万米ドル以下
- 5万米ドル以下



Taridesチーム

コア開発

助成金プログラムの一環として、世界中の分散化コア開発者チームからサポートを受けてテゾスプロトコルを推進しています。この分散化コア開発者チームが新たなプロトコルアップグレードに向けた提案作成に取り掛かっているところです。テゾスネットワークを検証するベーカーに改めて提案のうえ、投票が行われます。

Bolt Labsは米国を拠点として、ブロックチェーン上で迅速でプライベートな取引を実現するためにzkChannelsプロトコルを構築しています。プライバシー保護を目的とするステートチャンネルを使用することにより、ゼロ知識証明とマルチパーティー計算手法に基づいて取引をオフチェーンで集約します。Bolt Labsは、テゾスのブロックチェーン上でプライバシーを保護するステートチャンネルを有効にするための開発作業に助成金を使用します。

ダイラムダ (DaiLambda) は京都に拠点を置く、テゾスのコア開発チームです。テゾスのコアプロトコルとスマートコントラクトの研究開発に取り組んでいます。ダイラムダ・チームは、パリにあるフランス国立情報学自動制御研究所 (Inria) 時代の学術研究に端を発するOCamlの豊富な経験を持ち、トレーニングとコンサルティング契約を通じて、日本を含むアジア広域でテゾスエコシステムの成長に貢献しています。テゾスのコアストレージの最適化、ならびに日本でのプロモーション

活動を目的とする“Plebia”プロジェクトに対して、助成金が交付されました。

Marigoldはフランスの会社です。コア開発者チームの拡大と、パフォーマンス、同時実行性、コードベースのメンテナンスなど、優先度の高いテゾスのコアプロトコルのテーマに取り組んでいます。これまでも、テゾスの開発者に向けたQoL改善やレイヤー2ソリューションへの取り組みなど、プロトコルのアップグレード実施や提案アップグレードの開発でテゾスをサポートしています。チームはさらに、オンラインやソーシャルメディアにおけるプレゼンスにも着手し、開発上の最新エコシステム対応に取り組んでいます。

Metastateはスイスを拠点とするセキュリティ志向の組織で、分散型台帳の研究とプロトコル開発に集中しています。Metastateは、テゾスプロジェクトの発展に役立つ多くの技術を研究開発しています。特に、コンセンサスアルゴリズム、プライバシー保護機能、証拠の提示とステーキング製品、ガバナンス、スマートコントラクト、シャーディングなどに取り組んでいます。Metastateは他のテゾス開発者と協力してDelphiとEdoの開発に携わっています。

Nomadic Labsは、フランスの研究開発企業です。スマートコントラクトの形式検証、コンセンサスアルゴリズム、およびテゾスのゼロ知識暗号実装の可能性に関する研究を行っています。

Nomadic Labsは、テゾスでスマートコントラクトを作成するためのドメイン固有言語Michelson、および高水準言語のコンパイラターゲットとして機能する追加の低水準言語Albertの開発を続けています。このチームは、DelphiやEdoといった過去のプロトコルのアップグレードにも寄与しました。さらに、Nomadic Labsはプロトコルの開発において、世界的な研究機関や大学と協力しています。また、グローバルなテゾス開発者コミュニティと協力して、開発イニシアチブをサポートし、テゾスプロジェクトのさまざまなチームや貢献者全体のワークフローの合理化に取り組んでいます。

Taridesはフランスのソフトウェアエンジニアリング会社で、仮想現実技術、分散型システム、プログラミング言語の開発に主に携わっています。現在はテゾスとMirageOSの統合と継続開発、WindowsやJavaScriptのような新しいプラットフォームにおけるテゾスの移植や保守に注力しています。Taridesチームはまた、テゾスで使用されるMirageOSライブラリに対しても長期的なサポートを保証しています。さらに、テゾスのビルド時間の改善に積極的に携わり、テゾスなどが使用するOCamlツーリングを用いたRustコード統合の簡素化に取り組んでいます。

研究・教育

研究・教育部門の助成金は、テゾスの長期的な成功と新たに加わる開発者のトレーニングのサポートに充てられています。研究開発チームだけではなく、教育資料を通じてテゾスのエコシステムに加わる新規チームの参入ハードルを積極的に低めようと努めているグループも対象にサポートしています。

B9labは、英国を拠点とし、ブロックチェーンと分散型アプリケーションの分野に特化した技術導入、企業学習、コンサルティングソリューションを専門とする企業です。このチームは、助成金を利用し、エコシステムスタックを活用してテゾスアプリケーションを開発する方法を学びたい開発者向けの教育体験を開発していきます。この取り組みの一環として、自由にアクセスできるトレーニングコースや、開発者中心のCSO (continuous security offering) のユースケースを構築しています。

Cryptoverse WarsはBUIDL Labsが立ち上げたプロジェクトで、ビジネス成長を促進するツールとして起業家により起業家のために開発されました。SmartPyでテゾススマートコントラクトを作成する方法を指導することにより、開発者にテゾスエコシステムを教育するインタラクティブな楽しいコード学習スクールとしてのプロジェクトの開発を続けています。

Dacadeは、35名の戦略家、開発者、設計者が集まる学際的なネットワーク **Unit U+2467**が運営するプロジェクトです。2010年にベルリンで設立され、現在では4つの国を拠点にプロジェクトに取り組んでいます。ピアツーピアの学習ネットワークであり、質の高い教育的交流にトークンを使って報酬が支払われています。Dacadeは今後テゾスの知識・教育交流が活発に行われる市場となることでしょう。

Figment Networksは、Web3ソリューションを開発するカナダの企業です。同社の狙いは、テゾスアプリケーションを開発するソフトウェアエンジニアのために、よりシームレスなエクスペリエンスを実現することにあります。同社の代表的なイニシアチブが、学習プラットフォームのFigment Learnです。コミュニティが、テゾスについて、そしてエコシステムにより開発された各種ツールの使い方を学習できる場になるよう、テゾスを取り入れています。

Kestrel Instituteは、米国に拠点を置く、コンピュータサイエンスの非営利研究センターです。このチームは、Zcashプロトコル仕様に記載されているJubjub楕円曲線演算のR1CS実装の機能的正しさを正式に検証しています。この研究機関の成果は、Nomadic Labsとの共同や、テゾスのコア開発に活用されます。

名古屋大学は日本屈指の高等教育機関です。名古屋大学大学院多元数理科学研究科のジャック・ガリグ教授が中心となって、“Certifiable OCaml Type Interface” (COCTI)プロジェクトが進められています。COCTIとは、堅牢性・モジュール性・検証性を高めたOCaml型インターフェースのことです。具体的には、制約ベースの型インターフェースを使用したOCamlタイプチェッカーをモジュール化し、Coq証明支援システムを使った証明により検証を行います。大学に交付された助成金は、ブロックチェーン教育を拡充し、関連するテーマを検証するのに使用され、ダイラムダならびにアジア広域のテゾスチームとの協力のもとにテゾステクノロジーの習得コースを開催するための資金として使われます。

OCaml Labs Consultancyは、一流の関数型プログラミングおよびコンピューターサイエンスの学際的なチームとして、英国ケンブリッジ大学を拠点として活動しています。この助成金により、OCaml Labsチームはテゾスコードベースを新しいduniverseビルドシステムに移行します。これにより、テゾスビルドの速度が向上し、開発者の開発ワークフローがスムーズになります。OCaml Labsは、このプロジェクトでインド工科大学マドラス校（IITマドラス校）の研究者と協力しています。同校はインドの高等技術教育および応用研究分野で最重要な研究所です。

OCTO Technology は、Accenture Digitalに属するフランスのコンサルティングおよびIT導入会社です。OCTOチームはこれまでにTezos Linkの構築とTezos Academyの改善を行いました。Tezos Academyとは、楽しくユーザーフレンドリーな方法でLIGOスマートコントラクトの開発を教える無料オンラインプラットフォームです。OCTOはさらに、テゾスでデジタル収集品マーケットプレイス向けにオープンソース・ボイラープレートのTezos Landを開発。近日にはOpenTezosも公開しました。テゾスのブロックチェーンを迅速に導入するための、分かりやすく情報が網羅された学習も可能な開発者リソースです。

Pretty buttons/Stove Labsはスロバキアを拠点として、Tezos Schoolを構築している企業です。最新のテゾス利用方法を総合的に学べるコースを開発者向けに提供しています。このプロジェクトでは、ユースケースの開発なども進めています。チームはさらにテゾスエコシステムの一部の企業とも連携し、日常業務の実践的なユースケースを反映したTezos Schoolの立ち上げにサポートを受けています。

Reason Associationは、より効果的な学習教材やツールを制作・普及させることで、ReasonMLコミュニティの成長を推進しています。また、JavaScript開発者にReasonやOCamlを教えるための新しい資料を作成したり、既存ユーザーの開発環境を改善したりしています。テゾス関連のコンテンツや、ReasonMLコミュニティのテゾスエコシステムへの参加を促すためのリソースやツールがこれに含まれます。

Segfault Systems はインド・チェンナイで設立されたディープテックスタートアップ企業です。Segfault Systemsは型安全なプログラミング言語抽象化技術を用いたスケーラブルなシステムにおける種々の複雑な問題を解決しています。同社はMulticore OCamlプログラミング言語とその関連開発者ツールの開発を指揮しています。この助成金を活用し、Segfault Systemsはテゾスのマルチコア機能を構築することでエコシステムをサポートしています。

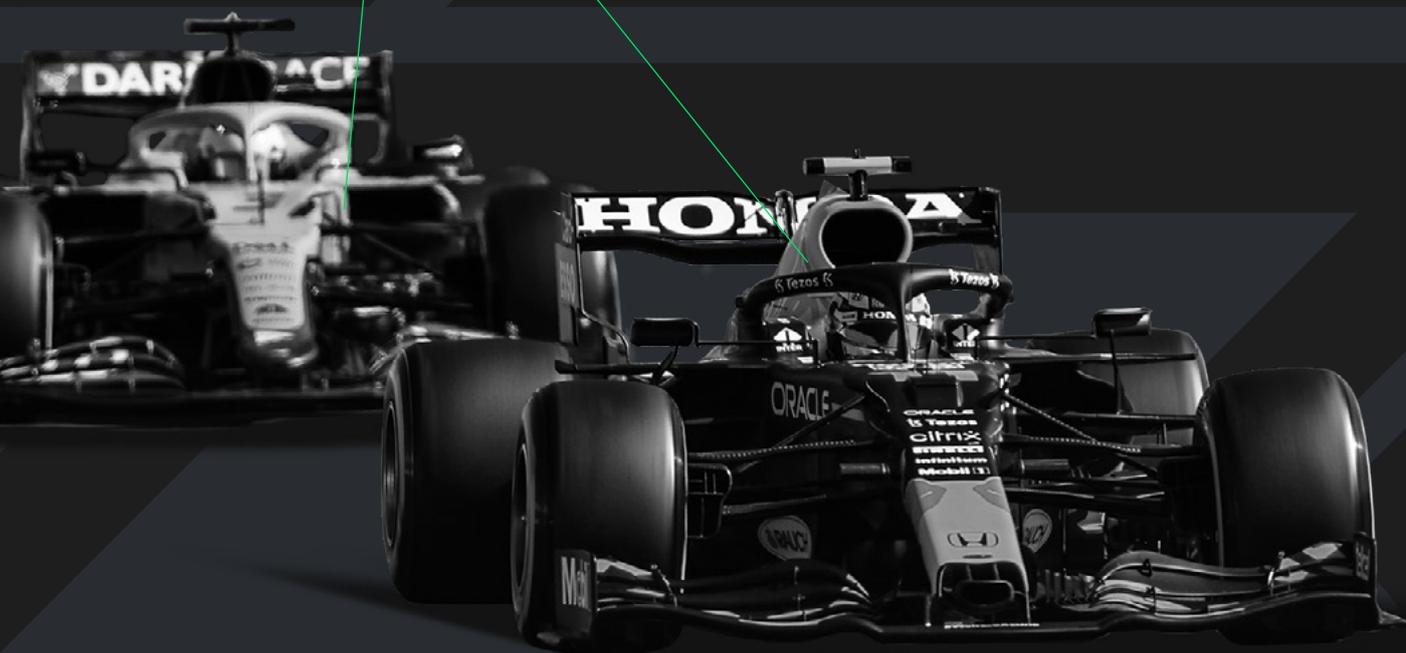
Spruceは、テゾスエコシステムに参加し、デジタル自己主権型アイデンティティソリューションを構築しています。米国を拠点とするこのチームが取り組んでいる主な製品は、資格証明ウォレットのモバイルアプリケーション、資格証明問題のためのWeb2・Web3アプリケーションとプラットフォーム、検証者ツール、エコシステムスチュワードポータル、そしてアイデンティティブリッジやSDKなどのいくつかのインフラ成果物です。

VDF Allianceは、ブロックチェーンエコシステム用のオープンソースハードウェアを構築する、世界クラスの学術、非営利、企業の協力者が集まる団体です。テゾス財団はVDF Allianceに参加して、テゾスのようなブロックチェーンプロトコルのセキュリティとスケーラビリティ向上の研究開発をサポートします。

フライブルク大学はドイツで5番目に古い大学で、人文学や社会科学、自然科学、工学分野の教育で長い歴史を誇ります。国内外から高い学術評価を得ています。情報学の正教授であるピーター・ティーマン教授は、OCamlのコントラクトオーケストレーション（COOC）に対する助成金を受給しました。これはOCamlとMichelson間のスムーズな互換性を保証し、OCaml言語を使ったアプリケーションプログラムからのコントラクト呼び出しの正しいオーケストレーションを保証するプロジェクトです。

Simple Stakingはスロバキアを拠点とする新興企業の**Viable Systems**から派生しているチームです。同社の研究とコア開発関連事業において、同チームは決定論と安定性と、ストレージの最適化を通じたパフォーマンスを向上することでテゾスのコア開発に貢献すると共に、ストレージとテゾスノードの互換性を向上することで開発者コミュニティをサポートしています。

レッドブル・レーシングとマクラーレン・レーシングはテゾスの省エネデジタルファン体験の構築に努めています。



テゾス
サステナブルデジタル
ファン体験。

エコシステム - ツール・アプリケーションの助成金

テゾス財団は、スキルレベルの異なる開発者がテゾスで新たなアプリケーションを構築でき、エコシステムの成長に役立つツールを構築している数々のチームをサポートしています。テゾス財団はこれまで、この助成金作成カテゴリである、8つの主要分野（プログラミング言語とライブラリ、ブロックエクスプローラーと分析、スマートコントラクト開発、インフラストラクチャ、アプリケーション、収集品とクリエイタートークン化、クラウドファンディング、分散型ファイナンス）に焦点を当ててきました。

受給者とその他の受給団体・組織：

プログラミング言語とライブラリ

- Edukera、フランス
- LIGO、フランス
- Luiz Milfont、ブラジル
- Madfish Solutions、ウクライナ
- MoneyTrack、フランス
- MyTezos LLC/Sotez、米国
- NEOFACTO、フランス
- Nomadic Labs、フランス
- Viable Systems、スロバキア（旧：Simple Staking、マルタ）

ブロックエクスプローラーと分析

- Attic Lab/Everstake、ウクライナ
- Baking Bad、ロシア
- Blockwatch Data、ドイツ
- Papers/AirGap、スイス

スマートコントラクト開発

- Anchor Labs、米国
- Baking Bad、ロシア
- Biconomy、シンガポール
- ダイラムダ株式会社、日本
- Guillem Rieu、フランス
- Johann Tanzer、オーストリア
- 高麗大学校、韓国
- Runtime Verification、米国
- Serokell OÜ、エストニア
- Truffle Blockchain Group、米国

インフラ

- Ateza LLC、米国
- Attic Lab/Everstake、ウクライナ
- Bakin'Bacon、米国
- CapBridge Financial Pte Ltd.、シンガポール
- Chainstack、シンガポール
- Cobo、中国
- Cryptocount、米国
- Cryptonomic、米国
- cryptokarpak、エストニア
- Crypto Storage AG、スイス

インフラ (続き)

- dOrg、米国
- DSENT AG、スイス
- ECAD Labs、カナダ
- Equisafe、フランス
- Figment Networks、カナダ
- Fireblocks、イスラエル
- FutureSense、韓国
- Global P.O.S./Global Soft SAS、フランス
- Gravity、フランス
- ImToken/Hangzhou Rongshi Technology Ltd.、中国
- Kalima、フランス
- KoineArth、シンガポール
- Kukai、スウェーデン
- Metaco、スイス
- MIDL.dev、エストニア
- Opsian、英国
- Papers/Airgap、スイス
- Shareable Asset、シンガポール
- SmartChain/Aqar Chain、アラブ首長国連邦
- Smart Chain Arena、米国
- Solvuu Inc.、米国
- Soulmachine Ltd.、英国
- Sylo/DN3010 Ltd.、ニュージーランド
- Taurus、スイス
- TezQuery、フランス
- Tocqueville Group/TQ Tezos、米国

アプリケーション

- Agile Ventures、チェコ
- Atlas One、カナダ
- Bitfortip、ギリシャ
- BlockchainXdev、フランス
- Blockcurators GmbH、ドイツ
- Botwars Ultimate Trading/Quazard Ltd.、英国
- BountyBlok.io、カナダ
- Chain of Insight、カナダ
- CHAINBREAKERS LLC、米国
- CoEnzyme SAS、フランス
- Diginex Solutions、香港
- Electis、フランス
- IBF Net Ltd.、マレーシア
- Metaculus、米国
- MVL Foundation、シンガポール
- Talao SAS、フランス
- Tangany GmbH、ドイツ
- Wolfram Blockchain Labs、米国
- Xcap Ecosystem Ltd/Ownera、英国
- Zondax、スイス

収集品・クリエイターのトークン化

- Amplify Creative Group, Inc.、米国
- Hicetnunc2000、ブラジル
- フリーランス
- McLaren Racing、英国
- Mozik/Shanghai Kefeng Information Technology Ltd.、中国
- NFT Genius、米国
- ONEOF、米国
- Open Block Ventures LLC、米国
- Ozone Networks, Inc.、米国
- Papers、スイス
- Queens Ballpark Company
- RedBull Racing、英国
- Savitribai Phule Pune University、インド
- Vyking、ドイツ
- Vertical Crypto Art、英国

クラウドファンディング

- Gitcoin、米国
- Kickflow、インド
- Smart Crowd、アラブ首長国連邦

Decentralized Finance (DeFi)

- Alternative Derivatives Exchange、英国
- Bender Labs、フランス
- camlCase、米国
- Ejara/Nzinghaa Lab、カメルーン
- Madfish.solutions、ウクライナ
- OpusDei (仮称)、エストニア
- Papers、スイス
- Stably、米国
- Smart Contract Labs、エストニア
- Wealthchain Inc.、米国

決済ソリューション

- CryptoTask、クロアチア
- Ejara、カメルーン
- Hexa Solutions、フランス
- Mt Pelerin、スイス
- Ohana Labs Pte. Ltd.、カナダ
- RADION FM、米国
- Ramp Swaps Ltd.、英国
- Shuttle One Pte Ltd.、シンガポール

合計: 米ドル 1億5,324万

組織・カテゴリごとの契約上の計算された月間バーンレート:

- 50万米ドル超
- 20万米ドル以下
- 50万米ドル以下
- 5万米ドル以下

プログラミング言語およびライブラリ

テゾスを可能な限り利用しやすくするために、テゾス財団はテゾス開発への参入ハードルを低めることに役立つオープンソースソフトウェアを作成するエンジニアをサポートしています。

Edukeraはスマートコントラクトセキュリティを主な事業内容とするフランス企業です。Edukeraのチームが提供するArchetypeは、テゾスブロックチェーンでのスマートコントラクト作成のために安全性を重視したドメイン特化言語で、テゾスのスマートセキュリティの実現に役立ちます。テゾス財団から付与された助成金は、プロジェクトをさらに推し進め、Archetypeスマートコントラクトの形式検証プロセスを構築することに使用されます。

LIGOはフランスを拠点としてLIGOプロジェクトの開発を手掛け、このツールの採用と対応を広げていくことを目指しています。

LIGOは、Michelsonで作成したものに比べて使いやすいスマートコントラクト言語で大型コントラクトの開発向けに設計されました。そして引き続き、全体的なメンテナンスやフロントエンド（シンタックス間のより良いトランスパイルなど）、ミドルエンド（タイパーに対する改良など）、バックエンド（Coqに移行する部分の数の増強など）といった改良を行っていきます。

Luiz Milfontはテゾスプロジェクトの推進とブラジルでの導入をサポートしています。各種のプログラミング環境やフレームワークにおけるテゾスの存在感を高めるために複数のプログラミング言語でライブラリを作成していますが、助成金はその取り組みをサポートし、ポルトガル語ユーザー向けの教育プログラムを支援するのに使用されます。

Madfish Solutionsはウクライナ発のソフトウェア開発企業です。テゾスのエコシステム推進をサポートするプロジェクトをいくつか手がけています。そのようなプロジェクトの一環として、彼らが特に力を入れているのがeth2tez (sol2ligo) の改良です。このトランスパイルにより、開発者はスマートコントラクトをSolidityからLIGOに移行することができます。

MoneyTrackは、フランスを拠点とするチームで、従来の決済の世界と、ブロックチェーンの制御、追跡性、取消不能性の保証を組み合わせた有向通貨の決済プラットフォームを構築しています。テゾスでの取り組みの一環として、開発者の活用を促進し、dApp開発の摩擦を取り除くために、テゾス向けDartライブラリを開発しています。

Nomadic LabsはMichelsonの管理を続けています。Michelsonはテゾススマートコントラクトのプログラミング言語で、正式検証を念頭において設計されています。かなり低レベルのスタックベースの言語ですが、当該言語の静的型システムはスマートコントラクトを実行する前にプログラミングエラーのクラス全体を排除可能です。Nomadic Labsは、高水準言語のコンパイラターゲットとして機能する、スマートコントラクト用の中程度のプログラミング言語であるAlbertにも取り組んでいます。さらにNomadic Labsは、Mi-Chocoq (Coqインタラクティブ定理証明器を使用するMichelsonの仕様) を保守しています。このことにより、Michelsonの構文とセマンティクスの正式な仕様と、スマートコントラクトを検証するためのフレームワークを提供します。

ブロックチェーンは、コミュニティのユーザーの力があってこそ、そのパワーを発揮します。

Viable Systems



MYTEZOS, LLCは米国に拠点を置くテゾス開発者の企業で、テゾスとの相互作用性を実現する最小限のJavaScriptライブラリとして **Sotez**の開発を手がけています。交付された助成金はSotezの継続的な開発に使用されるとともに、テゾスの開発に適したTypeScriptライブラリであるTaquitoの開発資金として役立てられます。

NEOFACTOはフランス、ルクセンブルク、ベルギーにオフィスを構え、80名以上のスタッフを擁するコンサルティング会社です。同社のデジタル化イニシアチブを通じて、クライアントをサポートしています。そのサービスのなかには、ブロックチェーンコンサルティングやアプリ開発も含まれます。同社に付与された助成金は、Java連携ツールボックス (EJ4Tezos) の開発とリリースを通じてテゾスプロジェクトを促進するために使用されます。そのような取り組みには、ビジネス界におけるテゾス採用を推進する狙いがあります。

Viable Systemsは、**Simple Staking**を前身とする、スロバキアを拠点にTezEdgeのビルトを続けている企業です。TezEdgeとは、安全性への配慮から人気のあるRustプログラミング言語で実装されたテゾスノードです。Nomadic Labsやその他の広範なテゾス開発コミュニティと協力してプロジェクトを進めています。Rust言語で実装されたテゾスノードがエコシステムに加わることでノード実装の多様性が増し、ネットワークの分散性と堅牢性が高まります。

ブロックエクスプローラーと分析

テゾス財団では、コミュニティメンバーが、テゾスブロックチェーン分析に使用できるオープンソースのブロックエクスプローラーやその他のツール開発を優先して資金提供しています。



Blockwatch Dataチーム

Attic Lab/Everstakeはいくつかのプロジェクトで助成金を受け、テゾスブロックエクスプローラーであるTezTrackerや、テゾスマルチシグウォレットの構築・改良などに取り組んでいます。ウクライナを拠点に活動する同社は、既存の効率的な公開インデクサーを利用して、このブロックエクスプローラーのバックエンドとフロントエンドを構築し、展開するために助成金を使用します。

Baking Badは、エコシステムで広く使用されている多様な製品を構築するテゾス開発チームで、ロシアを拠点として活動しており、テゾスの多岐にわたる分野と製品を積極的に手掛けています。ブロックエクスプローラーの分野では、引き続きTzKTとBetter Call Devを手がけ、その改良に取り組んでいます。具体的には、インデクサー機能やプロトコルのアップグレードをサポートする諸々の変更、NFTやDeFi関連活動の急激な成長といったエコシステムの開発にかかる調整などが挙げられます。

Blockwatch Dataはドイツを拠点として活動しています。テゾスブロックエクスプローラーのTzStatsならびに基盤となるブロックチェーンインデクサーであるtzindexの開発を促進しています。TzStatsを使用すると、ユーザーは将来のプロトコルアップグレードへのコンプライアンスを確保できるだけでなく、テゾスベース資産と人気のトークンを追跡することもできます。

Papersはテゾスエコシステムの**AirGap**ウォレットを運営する開発チームです。スイスに拠点を置くPapersチームは、Tezos Agoraとの統合、テゾススマートコントラクトと資産のサポート、そしてその他の主要なメトリックとデータの視覚化を通じて高性能なベーキングやガバナンスデータを追加することで、テゾスブロックエクスプローラーであるtezblockの改善を続けています。

スマートコントラクト開発

テゾスは、組織レベルのスマートコントラクトをサポートしています。テゾス財団は、テゾススマートコントラクト開発とそれに続くアプリケーションの参入ハードルを低めるためのツールに資金を提供しています。

Anchor Labsは米国を拠点とするチームで、テゾスのスマートコントラクトにGolangのサポートを導入することに取り組んでいます。Anchorageのオープンソースライブラリの範囲を拡大し、Go言語でのコントラクトスクリプトの作成、呼び出しをサポートできるよう取り組んでいます。

本書で取り上げるその他のプロジェクトに加えて、**Baking Bad**は、デジタル証券（“セキュリティトークン”）やその他のテゾス資産基準にさまざまなアトミックスワップ実装を提供する柔軟なプログラムモジュール集Atomex STO Gateも手掛けています。

BiconomyはWeb3アプリケーションに注力し、テゾスのメタランザクションプロトコルの開発を進めています。その一環として、TZIPを開発し、エコシステム内の他のTezos開発者と協力して、メタランザクションをサポートするスマートコントラクトの標準規格の策定に取り組んでいます。これは、ガスに最適化されたメタランザクションとクライアントサイドSDKを活用し、開発者が簡単にリレーインフラに接続してメタランザクションを利用できるようにするためです。

ダイムラダは、日本を拠点とする開発チームです。形式メソッドで高品質のスマートコントラクト開発の負担軽減に積極的に取り組んでいます。将来的には助成プロジェクトの一環として、Typical Smart Contracts (TSC) エージェンシーのコンセプトを確立し、そのようなプラットフォームのためにオープンソースのプロトタイプを構築することを目指しています。プラットフォームのウェブアプリケーションでは、ユーザーが数多くのテンプレートのなかから適切なものを選んでスマートコントラクトを作成できます。ユーザーの作業を助けるために、分かりやすく直感的に操作できるウィザードが用意されています。

ギリェム・リュウ (Guillem Rieu) 氏は、Patreonのような従来のクラウドファンディングプラットフォームを置き換えるテゾスペースのプラットフォームの開発を目標に、PeerPatronプラットフォーム及び関連のオープンソースツールの研究に取り組んでいます。dAppsやスマートコントラクトのテンプレートをリリースし、チュートリアルや説明書類一式を整備することも、プロジェクトの内容に含まれています。同氏はフランスを拠点に活動しています。

ヨハン・タンツァー (Johann Tanzer) 氏はオーストリアを拠点に、自らが指揮を執ってTplusの開発を進めています。テゾス環境(サンドボックスやパブリックノード)の容易な管理を開発者に可能にするツールとしてTplusを提供することで、テゾス関連の開発ハードルを下げるのが狙いです。同社に交付された助成金は、既存のオープンソースプロジェクトやライブラリをTplusに組み込み、ユーザーインターフェース(UI)とユーザーエクスペリエンス(UX)を改善し、コミュニティにおけるTplusの利用普及を促すために使用されます。

高麗大学校は3万6千人以上の在籍学生数を誇り、韓国で最も長い歴史をもつ大学の一つです。コンピュータサイエンス学部助教授の**Hakjoo Oh**は、Michelsonで書かれたスマートコントラクトの完全性を全自動で検証し、テストするツールの開発に取り組んでいますが、その取り組みを支援するために助成金が交付されました。

Runtime Verificationは米国に拠点を置き、ランタイム検証ベースの手法を使用してソフトウェアの安全性、信頼性、正確性を向上させる開発に取り組んでいる会社です。開発に携わるチームは、数々のスマートコントラクト監査を通じてテゾスのエコシステムをサポートしているほか、Michelsonのコード上でカバレッジ情報を直接表示できる、Michelson向けFireflyクライアントの開発にも着手しています。

Serokell OÜはカスタマイズ型の高性能ソリューション開発に注力しているソフトウェア開発会社です。エストニアを拠点に活動するこのブロックチェーン企業は、ス

テーブルコインやラップドアセット関連のテゾススマートコントラクトや各種開発者ツールの開発と保守に取り組んでいます。また、Tezos Agora、Kiln、TZIPエクスプローラーといったエコシステムの各種ツールやプラットフォームのメンテナンスもサポートしています。

世界最高水準の開発環境“Truffle Suite”を開発している米国の**Truffle Blockchain Group**は、助成金を活用し、スマートコントラクト開発ツール“Truffle”にテゾスサポートを実装するソフトウェアプログラムの開発を支援することで、テゾスプロジェクトに貢献します。プログラミング言語“SmartPy”にTruffleのサポートが追加されます。テゾス式Ganacheの概念実証も作成します。

インフラ

インフラは、活発なブロックチェーンエコシステムに不可欠です。テゾスの場合、ファイナンシャルプリミティブスや資産基準などの重要なインフラを構築するプロジェクトにより、開発者はこれらの公共財を使ってテゾス上で新しいアプリケーションを作成しやすくなります。

Ateza LLCは米国を拠点に活動するチームで、テゾスノードとインターフェースをとるE2E暗号化を使ったグローバル負荷分散APIを開発しています。テゾス分散型台帳とインターフェースをとるアプリケーションの開発を容易にするため、テゾスのインフラストラクチャ強化をサポートすることが、APIの目的です。

Attic Lab/Everstakeは、ウクライナのチームで、助成金を受けていくつかのプロジェクトに取り組んでいます。テゾスのインフラに対する取り組みの一環として、テゾスエコシステムの信頼性と安定性を高めるために、Tezos Giga Nodeの運用・保守を行っています。このほか、Papersの開発ビーコンなど、エコシステムのオープンソースコンポーネントを活用するテゾスマルチシングウォレットウェブアプリケーションを構築しています。

Bakin' Baconは米国を拠点にデスクトップ型ベーキングソリューションに着手しているプロジェクトです。技術に精通していなくても自己のベーカリーを設定して報酬の払い出しを管理できるシンプルなGUIベースアプリケーションの開発と保守を行っています。一般的に利用されているオペレーティングシステムに対応することがプロジェクトの狙いです。

CapBridge Financial Pteは、シンガポールを拠点とする企業です。会社や投資家が独自の手法で統合された一次シンジケーションや二次的取引アプローチを介して価値を解き放てるようサポートするプライベートマーケットソリューションを提供しています。CapBridgeは未公開（プライベート）企業の株式を直接更新して国別登録簿に取引情報を転送できるようにすることでテゾプロジェクトに貢献しています。これで未公開企業は実質、ユーザー定義で選別されたグループや株主と非公開取引することが選べるようになります。

Chainstackはシンガポールを拠点とする企業です。スタートアップ企業から大手企業まで、クライアントの規模を問わずブロックチェーンアプリケーションの構築、運営、規模拡大をサポートしています。チームは提供サービスを拡大し、テゾスのメインネットやテストネットインフラストラクチャにも対応しています。内閉的かつ自給式のプライベートネットワークや、テゾスコミュニティサポートといったパブリックテゾスノードを展開するマネージドサービスを提供しています。テゾスコミュニティでは、エコシステムの開発者をサポートするほか、ミートアップやウェビナーなど、テゾスに特化したビジネス開発にも取り組んでいます。

Coboは中国を拠点とする大手暗号ウォレットです。テゾスの統合に加えて、地域別資料を発行して、テゾスの認知度を高める活動を行っています。具体的には、機関投資家とテゾスのタッチポイントを増やすためのカスタディソリューションが挙げられます。

Cryptocountは、PoSの報酬関連テゾスプロジェクトに着手している米国を拠点とする開発者のプロジェクト兼会社です。ベーカー向けの税務申告書を作成するためのツールを開発してきましたが、現在はCryptocountという名前で、ユーザー向けのUIやUXデザインの改善などを行っています。

ユーザーの**cryptokarpak**は、エストニアを拠点に活動し、テゾスコミュニティでの自身の活動にサポートを受けています。また、エコシステムや地域の新規参入メンバーに積極的にサポートを行っています。

Cryptonomicはインフラストラクチャソリューションを構築しています。米国を拠点に活動する同社は、高度に分散化されたコンソーシアムアプリケーションに対応するツールやスマートコントラクトを提供しています。Chainlinkを使用してテゾス上でオラクルのサービスを開発しており、その中で現行の保守業務やコミュニティへの働きかけもサポートし、Arronaxブロックエクスプローラーなどの既存プロジェクトの改良を促進しています。加えて、Galleon、Conseil、ConseilJSの保守や、テゾスエコシステムのチームと定期的に整合を図っています。

Crypto StorageはCrypto Finance Groupに属しているスイス発の企業です。同社は、今日のデジタルアセットスペースではユニークな品質、信頼性、安全性を備えた製品やサービスを機関投資家やプロの投資家向けに提供しています。同グループは、FINMAに認可された暗号資産ファンド用の初の規制資産管理者による資産管理のほか、365日24時間暗号資産取引が可能な仲介サービス、暗号資産保管インフラストラクチャとトークン化ソリューションを提供しています。そして同社チームは、クライアントのプロジェクト向けに、テゾスのFA1.2およびFA2トークンの標準規格および委任機能を自社システムに統合して、テゾスの既存のサポートに加えました。

金融セクター向けのテゾスのユースケースへの着手が、革新的でコンプライアンスの高いオンチェーンの金融商品を今日の現実のものにします。

Crypto Finance AG (Crypto Finance Group)



dOrgは米国を拠点に活動するフルスタックフリーランサーエージェンシーで、Web3での構築と運用を手がけています。同社チームは、テゾス上のBaseDAOフレームワークを使用してDAOを作成し、その相互作用性を実現するためのアプリ“Homebase”を設計・開発しています。

DSENTは、テゾス上で構築されるトークン発行プラットフォーム“tokengate.io”を開発するスイス企業です。同プラットフォームではテゾストークンでの支払いも取り扱われます。この製品は、トークン化（暗号化）の利用を検討する銀行などの法人客をターゲットにしています。同社に付与された助成金は、トークンウォレット生成ツールを構築し、FA2トークン規格をトークンゲイトのプラットフォームに統合するのに使用されます。

ECAD Labsはソフトウェア開発、システムエンジニアリング、オープンソース開発、および開発者サポートの領域におけるプロジェクトを提供、管理しているカナダ企業です。ECAD Labsは、テゾス用のGrafanaデータソースプラグインを開発し、テゾスのリモート署名者Signatoryを改善しています。ECAD Labsは、テゾス上の開発に適した一般のTypeScriptライブラリとしてTaquitoの開発にも関与し、Nomadic Labsのテゾスインデクサ・ライブラリを普及させるために必要な改良にも関わっています。また、チームは、Taquiraという仮称で専用テゾスブロックチェーン開発スイートのプロジェクトに着手しています。

Equisafeはフランスの企業です。非上場企業が投資家や投資先を管理するためのソリューションを開発し、テゾス上の資産のトークン化をサポートしています。中でも同社の製品は、スタートアップ企業、不動産会社、投資家などに利用されています。同社チームは、FA1.2およびFA2規格をプラットフォームに導入しています。

Figment Networksは、Web3ソリューションを開発するカナダの企業です。同社の狙いは、テゾスアプリケーションを開発するソフトウェアエンジニアのために、よりシームレスなエクスペリエンスを実現することにあります。テゾスをHubble Web 3エクスプローラーに統合する開発を進めるために、助成金が付与されました。このエクスプローラーは、テゾスエコシステムに高水準の分析、アラート、ガバナンスツールを提供します。開発者がAPIを介してテゾスブロックチェーンのデータに容易にアクセスできるフルノードをサービスとして提供するData Hubという製品があり、同社はこのData Hubへのテゾス統合を進めています。

Fireblocksは、イスラエルに拠点を置く企業で、デジタル資産のカストディ・転送・決済プラットフォームを開発・運営しています。プラットフォームはマルチパーティ計算（MPC - multi-party computation）を採用しており、委任のサポートなどを含むテゾスのネイティブトークンを統合し、FA1.2とFA2トークン標準規格を使ってトークン化機能を構築しています。

FutureSenseは、NIA（韓国情報化振興院）との取り組みの中で、DIDサブシステム、データインテグリティサブシステム、トークンベースのデータマーケットプレイスなどにテゾスを組み込んでいます。このチームは、Nomadic LabsやTZ APACといったテゾスのエコシステムメンバーと、技術的にもコミュニケーションレベルでも協力しています。第1フェーズは終了し、現在第2フェーズが進められています。

Global P.O.Sはフランスの企業の**Global Soft SAS**が運営するプロジェクトです。同社の暗号通貨ウォレット“Easy2PlayWallet”にテゾスを統合し、国際的な販売拠点での支払いにTezを使用できるよう取り組んでいます。

Gravityはフランスを拠点とするチームで、個人や中小企業が本人に関する検証可能なデータをデジタルウォレットにまとめ、プライベートでポータブルかつ永続的に信頼できるデジタルアイデンティティを構築できるソリューションを開発しています。デジタルアイデンティティのプロジェクトでは、Spruce IDと共同で人道的活動組織のためのオープンソースのIDスタックを構築しています。財団が支援する活動の一環として、世界中のNGOに使用されているRedRoseシステムに、テゾスベースのDIDと検証可能なクレデンシャルを統合しています。



Gravityチーム

imTokenはアジア地域で多くの注目を集めているウォレットを開発した**Hangzhou Rongshi Technology Ltd.**が運営するプロジェクトです。チームは、中国を拠点に、tezを自社のソリューションに統合する取り組みを行っているだけでなく、ユーザー向け公開ベカリーの運営や、アジア市場でのコミュニケーション活動のサポートなど、ネットワークにも貢献しています。

Kalima Systemsはフランスを拠点とする企業です。Kalimaブロックチェーンとテゾスの相互作用性の実現に取り組んでおり、同社のソリューションは、モノのインターネットソリューションに焦点を当てて、プライベートおよびパブリックブロックチェーンの混合ソリューションをクライアントに提供しています。業界の大規模なパートナーシップを通じて、同社製品は企業部門へのテゾスの導入をサポートしています。

シンガポールの**KoineArth**が構築したmarketsNは、ブロックチェーンとAIをベースにした、ERPと互換性のあるソリューションです。協調的なB2B（企業間電子商取引）マーケットプレイスで、組織が協働することができ、1つのスケーラブルな分散型プラットフォーム上でエンドツーエンドの可視性を実現し、ビジネスプロセスやベンダーに統合できます。チームは、FA2トークンの使用を含め、テゾスでこのマーケットプレイスを構築します。

スウェーデンのKlas Harrysson Consultingとそのチームが開発した**Kukai**は、テゾススペースの資産に使用できる人気の高いウォレットです。DirectAuthを利用して、ユーザーがソーシャルメディアのアカウントを通じてウォレットを作成できる機能も搭載されています。助成金を活用し、UXやUIの改善、注目を集める分散型交換などのdAppsとの統合、モバイルデバイスソリューション、さらにはスマートウォレットの機能など、ウォレットの開発を進めています。チームはコミュニティや開発者から寄せられるフィードバックを基に、新たな機能の導入を積極的に行っています。

Metacoはスイス発の企業です。SILOプラットフォームを用いて、金融機関がデジタル資産を管理するためのカスタディソリューションを提供しています。その一環として、フロントエンド、バックエンド、ストレージソリューションの変更、デリゲーションやベーキングのサポートなど、SILOプラットフォームにおけるテゾスブロックチェーンとそのネイティブトークンの両方をサポートするために助成金を受けました。助成金を活用してMetacoは、テゾスを基盤技術として使用したSILOクライアントのデジタル証券へのテゾストークン規格（FA2など）の統合を実現します。

MIDL.devはエストニアを拠点として、テゾスのインフラストラクチャツールを使ったオープンソーススイツを構築するためのステーキングをサービスソリューションとして提供しています。同社のサービスには、ベーカーがテゾスブロックチェーンのスナップショットを簡単に取り込める方法として人気のページ“xtz-shots.io”があります。同社はインフラストラクチャを構築するソリューションを定額で提供しているので、顧客による直接的なステーキングが可能になります。MIDL.devは完全な銀行取引インフラを複製可能かつ安全にコードとして実装するプロセスを簡易化する開発を進めてい

ます。それによって、意欲的なテゾスベーカーの参入ハードルをめるのが狙いです。加えて、現在はIdealized Payouts（理想化された払い出し）の導入とベーカーの人気ツール“Tezos Reward Distributor”の改良にも取り組んでいます。

Opsianはケンブリッジにオフィスを構える英国企業です。同社チームはテゾスの継続的監視とプロファイリングを可能にするプロジェクトに取り組んでいます。その目的は、テゾスのエコシステムがテゾスノードのアプリケーションやシステムパフォーマンスを理解できるようにすることです。データが取り込まれ、インデックスが付けられ、公開ダッシュボードにまとめられるという方法で、プロジェクトはテゾスのOCamlランタイムのデフォルトオンメトリクス、低オーバーヘッドインストルメンテーション、継続的なプロファイリングを行います。

Papersは、他のテゾス開発チームと協力して、ユーザーがブラウザを介してテゾススペースのアプリケーションと対話できるウォレットインタラクションの標準を作成します。この標準を使用して、すべてのアプリケーション開発者が一般的な実装を介してウォレットを簡単に組み込めるようにするブラウザ拡張ビーコンを開発することに成功しました。スイスを拠点に活動するこのチームは、エコシステムの数々のプロジェクトに貢献してきました。本書で述べているプロジェクトに加えて、ウォレットソリューションの**AirGap**にSaplingを統合し、さらにテゾス上で子どもの小遣いを容易に管理するためのプロジェクトであるCryptostarsや、FA1.2/FA2と互換性のあるデポジットコントラクトといった開発者コミュニティ向けのビルディングブロックを手がけています。

Shareable Assetはシンガポールで活動するチームで、アセットプラットフォームを手がけています。iOS/Androidベースの、ウォレットとしても機能するアプリケーションで、不動産担保トークンを提供することを目的として、テゾスとFA2トークン規格を統合しました。

SmartChain/Aqar chainは、アラブ首長国連邦アブダビに本拠を置き、サウジアラビアにも進出している技術組織で、Aqar Chainと呼ばれるプラットフォームを構築しました。湾岸協力理事会（GCC）で初めて、ブロックチェーン技術を用いて不動産物件をトークン化し、個人投資家向けのクラウドファンディングでフラクショナルオーナーシップを提供しています。トークン化プラットフォームは、テゾスのFA1.2トークン規格を採用しています。

Smart Chain Arenaは米国を拠点とし、SmartPyを開発したチームです。過去にも助成金を受けており、現在は既存機能の改善や新規開発に注力しています。テゾスのアップグレードへの対応、コントラクトに簡単にメタデータを追加できる機能 (TZIP-16)、遅延や更新が可能なエントリーポイント、Temple (旧Thanos) の smartpy.io への統合、SmartMLやSmartJSのエディタなどに取り組んでいます。また、Chainlinkを介してオラクルサービスのサポートにも貢献しています。

Soulmachineは、金や銀の資産をトークン化し、ウォレット間での迅速な送金を可能にするために、Soulmachineのベンチャー企業であるOroPocketにテゾスプロトコルを統合し、テゾスプロジェクトに貢献している英国のチームです。ユーザー向けプラットフォーム“OroPocket”でtezおよびテゾスの金・銀トークンの送金、金・銀トークンの即時売買取引が可能な、テゾスウォレットの制作といった開発を行っています。

Solvuuは米国を拠点に活動するチームです。プログラミング言語のOCamlとそのオンラインプレゼンスに注力しています。チームは、ocaml.org向けに新しい実装技術を選定し、現在のコンテンツをサイトの新しい実装に移行し、OCamlマニュアルをサイトに統合しているほか、継続的な保守や機能の拡張を行っています。

Sword Franceはフランスの企業で、現在は法人向けのベーカーを運営しています。チームはこれまで培ってきた経験を基に、“Choose Your Baker”というプロジェクトの開発に着手しています。このプロジェクトは、トランザクションを送信するベーカーをテゾストランザクションの発行者が選択できるようにする通信プロトコルのリリースを目的としています。これは、セキュリティトークンを扱う金融機関のコンプライアンス部門にとっては切り離せないテーマです。

Syloは、ニュージーランドを拠点とする**DN3010 Ltd.**が手がけるプロジェクトで、Sylo Smart Walletを構築しています。これは、デジタル資産ウォレットと分散型プライベートメッセンジャーを組み合わせたアプリケーションです。このチームは2020年後期にテゾスをスマートウォレットに統合し、さらにフィアットオンラップと、ベーキングサービスの提供の両方に取り組んでいます。Sylo Smart Walletは、分散型通信プロトコルと、ユーザー間で安全な暗号支払いやメッセージを送信するためのスマートウォレットを内蔵したメッセージングプラットフォームを使用しています。

Taurusは、FINMA証券ディーラーライセンスを有しており、デジタル資産の取引、投資、保護を行える次世代プラットフォームを構築するスイスの規制金融サービス会社です。Taurusは、暗号通貨を保管するスイスの大手B2Bサービスプロバイダーでもあります。このチームは、テゾスプロトコルとFA1.2およびFA2規格をインフラストラクチャに統合しました。このインフラストラクチャは同社のデジタル取引で積極的に使用されています。この統合により、機関投資家をターゲットとした堅牢で信頼性の高いインフラを提供し、一部の大手金融機関にテゾスへの安全なアクセスを提供することで、プロトコルの採用を加速します。

TezQueryはフランスを拠点に活動するチームが立ち上げたプロジェクトです。TezQueryは、テゾスブロックチェーンのグラフ構造上でSQLクエリだけでなく、強力な(再帰的)クエリも評価するクエリエンジンです。

Tocqueville Groupは、企業と開発者向けのテゾスベースのソリューション、およびオープンソースソフトウェアを開発する技術チームを備えています。**TQ Tezos**としても知られています。TQ Tezosは他のテゾス開発者と協力して、幅広いトークンタイプの両方をサポートする統合トークンコントラクトインターフェースの標準およびマルチアセットコントラクトの開発を指揮しています。さらに、エコシステムのほかのチームと連携し、DAO、ベーキングソフトウェア、リファレンスアプリケーション、テゾスのプライベートバージョンなどの開発にも力を入れています。TQ TezosはTruesyやInterpop、Blokhausといったエコシステムチームとも連携しています。



Blockchain Xdevチーム

アプリケーション

テゾスは新しいタイプのアプリケーションを実現し、従来のソフトウェアスタックを使ってでは解決が困難だった問題に対処することができます。当財団は、幅広く適用されテゾスプロトコルでの標準化や検閲耐性、ユーザーコントロールに役立つ新たなアプリケーションをサポートしています。

Agile Venturesはチェコのコンサルティンググループで、2016年以降は社内に設けられたソフトウェア開発チームで数多くのテゾスプロジェクトを手がけています。チームはTaaSでの取り組みを続け、GraphQLサブスクリプションをTezosの上に導入する作業を続けています。これが今TezGraphとして知られているものです。TezGraphは、シンプルで、高い互換性と信頼性を誇るオープンソースのAPIです。GraphQLの利便性を活かして、テゾスブロックチェーンのヒストリカルデータとリアルタイムデータへのアクセスを提供します。このアクセス提供を実現するために、チームはECAD LabsとNomadic Labsと協力しています。またこうした開発に加えて、評判のよいTezos Domainsプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。Tezos Domainsは、ユーザーがドメインオークションに参加したり、自身のドメインを管理したりできるdAppです。また、Tezos Domains Indexerと公開APIの負荷分散、地理的冗長性を備えたデプロイメントも構築しています。

Atlas Oneは、民間資本市場向けのデジタル証券に主力を注いでいるカナダの企業です。同社チームは、デジタル証券およびデジタル証券オフリング (DSO) の構造化、作成、発行、配布、管理を目的としたプラットフォームの要素技術として、テゾスを使用しています。

Bitfortipは、ギリシャに拠点を置くソーシャルリワードネットワークです。金銭的なインセンティブとして暗号通貨の支払いを活用しています。ユーザーは、登録により固有のテゾスアドレスを取得し、資金を預けることができるほか、ウェブサイトやスマートフォンアプリを通じて、プラットフォームに写真なしの問い合わせを投稿できます。問い合わせを投稿したユーザーが回答を正解とすると、相手の暗号通貨残高が加算される仕組みです。

Blockchain Xdevは、フランスを拠点とする企業です。テゾスで各種分野でいくつかのプロジェクトを立ち上げています。

このプロジェクトでは、テゾスブロックチェーンを利用して車両データを認証・共有するブロックチェーンベースのマルチパートナープラットフォームを開発しています。チームが取り組んでいるこのプロジェクトは、企業におけるテゾスの採用を増やすだけでなく、開発者コミュニティ向けにオープンソースのビルディングブロックを開発することも目的としています。

Blockcurators GmbHは、主にブロックチェーンと暗号通貨を手がけるドイツのソフトウェア開発会社です。交付された助成金は、テゾスを同社のCoinKit TipBotに統合するための開発に使用されます。そして、Twitter、Discord、Slack、Telegramなどのプラットフォームの種類を問わず、ボットによりtez（テゾストーン）でのチップング（投げ銭）を可能にするために必要となるサポートを提供していきます。

Botwars Ultimate Tradingは英国に拠点を置く**Quartzard Ltd**のプロジェクトで、ゲームを通じてプレイヤーに楽しく画期的な方法で責任ある取引をする方法を教えています。ボット戦争で、あなたはトレーディングロボットの軍の大佐です。暗号通貨市場を征服して彼らを勝利に導くのがあなたの任務です。

BountyBlok.ioはカナダに拠点を置くゲーミフィケーションプラットフォームです。サードパーティのアプリケーションを使用して、課題やタスクを作成し、Zapierを介した統合によってサポートされている既存の製品と簡単に統合できます。達成した課題、実績、獲得したXPポイントなどがオンチェーンでトラッキングされます。

Chain of Insightは、分散型ツールとブロックチェーンゲームを手掛けているカナダのビルダーです。このチームは、過去にもテゾスペースのパズルゲームを作りました。現在は、テゾスで数ステージを設けた“Project Uanon”というパズルゲームを作成しています。このゲームには、テゾスペースのNFTが含まれており、魅力的なステージを通じて数か月にわたってプレイが行われる予定です。

CHAINBREAKERS LLCはオープンソースのテゾス公証サービスであるtzstampを開発した米国企業です。tzstampは、テゾスブロックチェーンを活用して、ファイルが特定の時間にまたはそれ以前に存在していたことを証明する暗号化タイムスタンプサービスです。

CoEnzyme SASはフランスを拠点とする企業です。テゾス上でゲーム分野のアプリケーション開発に注力しています。具体的にはオンチェーンで再利用可能なアセットや、人気作品に基づく代表的ゲームなど、エコシステム向けビルディングブロックの制作が挙げられます。Taquitoなどの評判のライブラリの使用を紹介しつつ、iOS/Androidといったプラットフォームで使用できるようにすることを目標としています。

香港を拠点とする**Diginex Solutions**は、デジタル資産とブロックチェーン技術の機関での活用を推進しています。助成金は、テゾスブロックチェーン上にeMinを構築して立ち上げるために活用されます。これには、Verifik8（プロジェクト1）、国連国際移住機関（IOM）（プロジェクト2）との共同によるタイでのeMinの実装の制作が含まれます。さらに、ETP（Ethical Toy Program）やマテル社などの加盟企業と共同で、デジタル監査用アプリケーション“Diginex Trust eMin”の強化版を制作しています。



Electisチーム

Electisはフランスを拠点とする非営利団体です。多数決・投票向けのテクノロジーの新しい利用促進を目指し、ブロックチェーンと特定の投票プロジェクトに関する特別な専門知識を備えています。Electisはテゾスをベースにした電子投票アプリケーションの開発を続けています。

このアプリケーションは世界中で多数の大学が選挙を実施する際に使用しており、この運用を通じてプロジェクトに貢献しています。また、チームはSpruceと協力して、同社のテゾスペースのDIDソリューションを投票アプリケーションに追加しています。最近では、NeuillyVoteというアプリケーションをパリのNeuilly-sur-Seineという自治体向けに開発し、このアプリケーションを通じて選挙が行われました。

IBF Netは、マレーシアを拠点とし、ハラルエコシステムの研究と技術を活用した、イスラムビジネス・金融ネットワークです。取り組みの一環として、テゾスを組み込んだ慈善管理プラットフォームを構築しており、Tezや他の暗号通貨での寄付も含めて、ブロックチェーンでの慈善事業への寄付の収集、分配、管理を可能にすることを目指しています。

Metaculusは米国を拠点とする予測技術プラットフォームです。何千人もの活発な熟練予測者が集まるコミュニティが、テクノロジー、科学、文化の近未来および長期的な未来について、より良い集団理解を構築にこのプラットフォームを利用しており、何十万人もの読者にグローバルなセンスメイキングユーティリティを提供しています。プラットフォーム上で行われた予測はそれぞれスコアリングされ、最適集約情報が生成され、可能な限り高い予測精度を生み出します。テゾスでの開発初期バージョンでは、TzStampを使用し、予測内容をテゾスのブロックチェーンに提供できます。将来的なバージョンでは、予測におけるいわゆるBaltimore Stockbroker攻撃への耐性構築に取り組んでいます。

MVL Foundationはシンガポールに拠点を置く企業です。テゾスを基盤とするブロックチェーンを使って、シェアードモビリティ関連市場に取り組むことを目指しています。

現在は、テゾスウォレットなどのアプリケーションを通じて、ドライバーや乗客を自社プラットフォームに引き入れることに取り組んでいるほか、テゾスプロトコル上で、決済やロイヤルティポイントのトークンとして、ステーブルコインのオプション統合を目指しています。

Synapsは、企業がカスタマーデューデリジェンス (CDD) ポリシーを遵守し、顧客確認 (Know Your Customers, KYC)、会社確認 (Know Your Business, KYB)、そしてアンチマネーロンダリング (Anti-Money Laundering, AML) のプロセスに従う上でのサポートを行っています。Synapsの特徴は、分散型アイデンティティ (DID) と自己主権型アイデンティティ (SSI) のソリューションを通じて、ユーザーの円滑なオンボーディングを実現する再利用可能なKYC検証を提供することにあります。この自己主権型アイデンティティソリューションは、分散型ストレージネットワークの“aleph.im”をベースにしています。このネットワークは、場所を問わずアクセスできるグローバルなデータベースでサポートブロックチェーンのアドレスからメッセージを受け取っています。そのブロックチェーンでテゾスの統合を行っています。

Talao SASは、テゾス上のデジタルアイデンティティ分野でソリューションを実装しているフランスの企業です。Spruceなど、この分野に携わるほかのエコシステム企業との協働により、従業員やフリーランサーとしての人材や、顧客としての企業に、専門的な検証可能資格情報を発行できるソリューションを構築しています。このソリューションは、人材は自身の専門的なスキルや経験に関する資格データを、将来の雇用主にテゾス上で分散形式により提示できる仕組みを提供しています。

Tangany GmbHは最近テゾスのエコシステムに積極的に参加しているドイツの主要なデジタル資産のカストディプロバイダーです。助成金プログラムの一環として、テゾスを自社のソリューションに統合し、ヨーロッパ中のB2Bブロックチェーンエコシステムに広くリーチしました。

Wolfram Blockchain Labsは、米国を拠点に活動するチームで、Wolfram Language、Mathematica、Wolfram|Alpha、各種Wolframテクノロジーを利用して様々なソリューションやサービスを提供しています。テゾスエコシステムの様々なチームとの協働により、テゾス上でWolfram|Alphaの統合、オラクルの統合、WBLで完成した教育作業の構築を目指しています。

Xcap Ecosystem Ltdは英国に拠点を置く企業です。金融機関がデジタル証券を発行して取引できる、テゾスブロックチェーンをベースにしたE2Eのデジタル証券プラットフォーム“Ownera”の開発に取り組んでいます。

同社のプロジェクトでは、FinP2Pの仕様に対応するデジタル証券トークン化ソリューションをテゾスブロックチェーン上に実装し、組織がテゾスブロックチェーン上でデジタル資産を発行できるようにすることを想定しています。FinP2Pノードを使用してテゾスブロックチェーン上で発行された資産を他のFinP2Pノードに公開でき、そのノードのユーザーが発行資産に投資できるようにすることで、その資産にグローバル流動性を提供します。

Zondaxは様々な技術的背景を持つソフトウェア開発者、エンジニア、暗号技術者から成るチームでスイスを拠点に活動しており、あらゆる業界の企業向けに革新的な技術製品を共同開発しています。チームは目下、Ledgerベーキングアプリケーションの改良に着手し、その各種改善とテゾスプロトコルの将来のアップグレードに対応できるよう取り組んでいます。

収集品・クリエイターのトークン化

テゾスは希少性の高いデジタルグッズの制作を可能にします。その一例がNFTで、テゾス上でとても好評です。このようなプロジェクトにテゾス財団が助成金を交付することで、エンドユーザーにとってテゾスが身近なものとなり、経ては世界中でテゾスが普及していくこととなります。

Amplify Creative Groupはクリエイター経済のためのフラクショナルオーナーシッププラットフォームです。米国を拠点に活動し、チームは2つのフェーズに分けてテゾスに取り組んでいます。第1フェーズではAmplifyXへの投資ごとに発行されるクリエイター向けのトレーディングカード型NFTの開発を行い、第2フェーズではクリエイターが独自のNFTを作成できるキュレーション型NFTプラットフォームの開発を行っています。このマーケットプレイスを構築することにより、クリエイターは自身のファンやコレクターのコミュニティを巻き込みながらコンテンツを収益化する能力を得られ、一方でバイヤーは購入したアートの独自性や真正性に対して確信を持てるようになることを目指しています。

インドのSavitribai Phule Pune Universityの学生で構成される**CricTez**の開発チームは、ファンタジークリケットクリプトプラットフォームを開発しています。プラットフォームでは、リーグに参加している各クリケット選手に対し、限られた数の非代替トークンを発行します。これらのトークンはプラットフォーム上で購入、収集、取引することができます。各選手は、一定数のカードによって決められます。リーグ開始時のスコアは1.0のカード(NFT)100枚という想定です。それぞれのカード/コレクションは、そのカードのスコアと所有者だけのものです。

D/artは、テゾス上で統合ステーブルコインを使いオークションハウスとNFTマーケットプレイスを構築しているドイツ発のプロジェクトです。チームは、ユーザーフレンドリーな方法でアートをブロックチェーンに組み入れることに注力しており、ベルリンを拠点とするTZ Connectと共同しています。

ブラジル企業の**hicetnunc2000**は昨年、eSportsへの注力からNFTおよび収集品分野へと方向転換しました。スマートコントラクトの着手に加えて、テゾス上で評判の良いNFTマーケットプレイスとdAppの“Hic Et Nunc”を開発しており、コレクターやアーティストなどのユーザーを多く得ています。マーケットプレイスでの開発の一環として、ウェブサイトのモバイルフレンドリー性の向上、OBJKTスワップの最適化などを積極的に行っており、プラットフォームを継続的に改善していくためのハッカソン“Hicathon”を実施しています。

McLaren Racingは、テゾスで次世代NFTプラットフォームを開発しており、ファンや消費者を中心に体験を提供しています。マクラーレンレーシングは、F1、インディカー、eスポーツなどのプログラムを通じて、テゾス上に最高かつ大人気の発行資産を保有しており、次世代のデジタルコンシューマーに対し、様々なマーケティング活動に参加しながらチーム独特の作品を所有する機会を提供しています。

マクラーレンがテゾスを選定した理由は、この関係の一環として革新を生み出し、受け入れ、クリーンでエネルギー効率の良いネットワークをすべての人が利用できるようにするというその先駆的なPoS技術と持続可能性への信頼にあります。2021年にテゾスとの最初のNFTを開始し、レーストラックの内外での大胆な前進に合わせて、パートナーシップとNFTを将来的に拡大していくことを期待しています。

Queens Ballpark Companyは不動産の設計、建設、運営を行っている企業です。同社はシティ・フィールド(MLBニューヨーク・メッツのホーム球場)を所有しており、ニューヨーク・メッツの完全子会社です。この契約の一環として、ニューヨーク市のフラッシング・メドウズ・コロナ・パークにあるシティ・フィールドではテゾスのロゴが掲示され、利用者にはテゾスで“Build, Play and Collect”(作って、遊んで、集めて)と紹介されています。

Shanghai Kefeng Information Technology Ltd.は中国を拠点とする企業です。自社のウォレットアプリケーションにテゾスを統合し、音楽IPのトークン化やコレクターとファンのエコシステムの強化など、テゾスブロックチェーン技術を通じて可能になる追加機能を備えた音楽ストリーミングアプリケーションの**Mozik**を公開しています。

NFT Geniusは、収集型NFTを主なプラットフォームとして使用する米国に拠点を置くストーリーテリング企業です。チームは“Bitcoin Origins”プロジェクトを通じてブロックチェーンと収集品分野で実績があり、現在はテゾスを中心としたコレクションの構築を進めています。



Tokencastチーム

ONEOFは、テゾス上に構築された、音楽に特化した米国のノンファンジブル・トークン (NFT) プラットフォームです。初の収集品のリリースには、故ホイットニー・ヒューストン、ドジャ・キャット、クインシー・ジョーンズ、ジェイコブ・コリアー、G-Eazyの音楽が含まれていると言われています。ファンは、135種類以上のフィアット通貨のほか、暗号通貨やステーブルコインのクレジットカードやデビットカードを使用してNFTを購入できます。このプラットフォームでは、アーティストの充実したラインナップに加えて、環境に配慮しているだけでなく、アーティストにとっては発行コストの削減につながり、ファンにとっては参入のハードルが低いというように、アーティストとコレクターの双方に魅力的なプラットフォームを提供することに注力しています。

Open Block Ventures LLCは米国に拠点を置く企業です。NFTを家庭やギャラリー、オフィスなどに飾れるようにするための活動を行っています。**TokenCast**はAndroidタブレットやAmazon Fire TV、Android TV、Raspberry Pisなどのクライアントに対応することでこれを実現させ、NFTの収集品をより身近なものとするを目指しています。

Ozone Networksは、世界最大級の非代替性トークン (NFT) のマーケットプレイスであるOpenSeaを運営している米国企業です。このチームは、ユーザーがOpenSeaのメインのマーケットプレイスサイトでテゾスのNFTを探索、購入、販売できるようにし、テゾスで埋め込み可能なNFTの改善を確実に実行できるようサポートされています。

レッドブル・レーシング・ホンダは、オーストリアのライセンスを取得し、英国を拠点に、ホンダのエンジンを搭載したマシンでレースに参加するF1レーシングチームです。F1では革新的な技術が常に求められ、レースの都度マシンは進化・発展していきますが、テゾスもちろん例外ではありません。テゾスはセルフアップグレードできるように設計されているためブロックチェーン技術の最先端であり続けることができ、レッドブル・レーシング・ホンダにも自然にフィットします。その省エネ設計もチームの長期的な環境目標と一致しているという点は非常に重要です。そしてF1ではカーボンニュートラルを目指していることから、テゾスは先駆的に開発した低負荷方法論が貴重な資産となります。さらに、テゾスに取り組むことで、チームはNFTの開発を通じてファンとのエンゲージメント獲得を最大化できます。レッドブル・レーシング・ホンダは、レッドブル・レーシング・ホンダの歴史の一部をファンが所有できる一方で、ブランドの革新とストーリーテリングをファン体験の最前面に押し出す収集型NFT XR Enhancedエコシステムを開発しています。

PapersはAirGap、tezblock、Beaconといったテゾス上のインフラストラクチャアプリケーションを開発してきたスイスのチームです。NFT分野における共通財の開発に積極的に貢献しています。tzcolorsプロジェクトに続いて、チームはエコシステムの他のチームや企業が独自のNFTプロジェクトにオープンソースのビルディ



Vykingチーム

ブロックを作成TezAuctionはインド発のデベロッパーMarda web3verse Technologies LLPのプロジェクトで、テゾスのFA2規格を使ったNFTのマーケットプレイス構築に注力しています。TezAuctionはSmartPyで構築されており、テゾスブロックチェーン上で動作するカスタマイズ可能なオークション属性を持つ、さまざまな形式のオークションを実施するための統一フレキシブルフレームワークを備えたソリューションを開発しています。

Vykingはドイツを拠点とする企業です。Vyking独自の拡張現実技術に支えられた、テゾスブロックチェーン上の仮想スニーカー（究極的には）ファッションNFTマーケットプレイスを構築することで、テゾスのエコシステムに貢献しています。同社チームは、世界でも有名なファッションおよびハイエンドのファッション企業と継続的なパートナーシップを結んでいます。

Vertical Crypto Artは、NFT分野に注力している英国企業です。メンターシッププログラムを提供し、アーティストやクリエイティブな活動をする個人としてテゾスエコシステムをどうナビゲートするかという面でサポートを行っています。具体的にはNFT、オン/オフチェーンの基本、暗号通貨ウォレットの安全性とセキュリティに関するコースのほか、テゾスブロックチェーンに特化した専用メンターシッププログラムがあり、テゾスベーシック101、ブロックチェーンの将来的な発展、Homebase DAO 101、ワークショップなど様々なテーマを扱っています。アーティストがどのようにテゾスエコシステムに貢献できるかを示すことを目的としています。

クラウドファンディング

ほかの応用分野として、テゾスは、必要なプラットフォームとツールを提供することでクラウドファンディングイニシアチブの支援にも活用できます。テゾス財団は、テゾスエコシステム内の優れたチームやプロジェクトへのクラウドファンディングとして、新規プロセスの導入や既存プロセスの改善に関わるプロジェクトに対し助成金を交付しています。

Gitcoinはバウンティとハッカソンのプラットフォームをテゾスと統合しました。Gitcoinはさらに、テゾスのエコシステムを支えるインフラストラクチャ、ツール、アプリケーションなどの開発プロジェクトに対するバウンティの管理、サポート、配布をサポートしています。今後、テゾスの開発プロジェクトを支援するために、プラットフォーム上でオンラインハッカソンも企画・運営していきます。

Kickflow (旧TezQF) は、Quadratic Funding (QF) と呼ばれるファンディングを行う、CLRマッチングをベースとした公共財の助成金やクラウドファンディング向けのプラットフォームです。Kickflowは、一般的なコミュニティの寄付とスポンサー資金を組み合わせ、テゾスのエコシステムにおける資金調達の仕事みを助成金のプロセス全体をよりシンプルで効率的なものにしようと試みています (QFとCLRのマッチング)。このために、チームはテゾスのエコシステムに組み込まれた分散型構造の構築に取り組んでいます。

Smart Crowdは、中東・北アフリカ地域で不動産のフラクショナルオーナーシップを提供する、金融規制対象プラットフォームです。投資家が1,500米ドルという低価格で不動産投資を始められるようにすることを目標としています。チームはスマートコントラクトを通じての効率向上、取引の透明性と正確性の向上、関連トークンの作成を通じての流動性の向上を目指しています。する際のサポートを行っています。



Rethink

テゾスのDeFiは、世界中のチームが金融商品やアプリケーションを再考し、革新技術を取り入れることで、飛躍的な成長を遂げています。

テゾス
持続可能な
金融の再考。

DeFi

Decentralized Finance (DeFi) は、ブロックチェーン上に構築された分散型金融インフラストラクチャの構築を指し、評判を得ているアプリケーション分野です。

テゾス財団は、この応用分野におけるテゾスの役割を強化するために、必要なインフラストラクチャ、共通財、ツールを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。



Bender Labsチーム

Alternative Derivatives Exchangeは英国を拠点とするチームです。次世代の機関金融インフラストラクチャの構築に取り組んでいます。同チームは独自の内部マッチングエンジンを構築し、現在はテゾスを基礎とするブロックチェーン技術を使って、外部のクリアリングと決済のオンチェーンに取り組んでいます。

Bender Labsはフランスを拠点とするチームで、現在WrapプロトコルのMVPを構築しています。これにより、誰でも簡単にERC20トークンをテゾスのトークンにラップすることができるようになります。プロジェクトには、FA2のホワイトリスト機能の活用や、ラッピングコンセンサスとインセンティブシステムの構築、ユーザーフレンドリーなWebインターフェイスなど、技術的にも非技術的にも重要な特徴が含まれています。さらに、チームはSushiSwapのAMMのように、cTezやBenderSwapの導入に取り組んでいます。

CamlCaseは分散型ファイナンス (DeFi) の開発と教育を主な業務分野とする米国企業です。分散型取引所のDexterとモバイルウォレットのMagmaを立ち上げ、維持するという同社の業務を促進するために、助成金が交付されました。さらに、Dexterとネイティブに統合されたテゾス向けモバイルスマートウォレットをビルドし、立ち上げるためのために、助成金が交付されました。開発されたオープンソースはエコシステムで継続的に使用され、テゾスにDeFiや同様のアプリケーションを構築しています。

Ejaraは、アフリカ市場に特化した、暗号通貨とトークン資産をサポートするモバイルアプリケーションです。カメルーンを拠点とし、Ejaraを開発した**Nzinghaa Lab**チームは、この助成金を活用して、スマートコントラクトを開発して製品に統合し、安全なウォレットバックアップとキーリカバリー、ビットコイン・テゾスのアトミックスワップ、およびテゾスのクロスチェーンキー登録とリカバリーシステムを実現します。

Madfish Solutionsは **eth2tez/sol2ligo**などの複数の分野でウクライナを拠点に積極的に活動しています。同社はそのインフラストラクチャ関連事業の一環で、テゾス上で最高峰ともいえるDEX、QuipuSwapを開発しました。安全で分散化された検閲耐性のある方法で、テゾス上のトークン/資産のシームレスな交換を可能にするプロトコルです。加えて、Temple (旧Thanos) も引き続き手がけています。Templeはさまざまなテゾスのアセット標準、dApp、エクスプローラーなどの統合サポートを備えたUXに焦点を当てたフル機能のウォレットです。さらに、BaseDAOやテゾスのガソリンスタンドネットワークなど、いくつかのプロジェクトでエコシステムのメンバーと協力しています。

仮称: OpusDeiは、エストニアに拠点を置くプロジェクトです。テゾスで預金利息の受取りと借入れができる、コミュニティ管理式のオープンソース分散型金融サービスを作ることを目標としています。このプロジェクトは、ユーザーが提案し、議論し、変更を実行することが狙いです。テゾスのエコシステムを利用して、非技術系ユーザーにも使いやすいオープンな製品を制作し、より多くの人にDeFiの可能性を広げたいと考えています。

Papersはスイスのチームです。テゾスのエコシステムで活発な開発を行っています。tezblock、AirGap、その他のプロジェクトに続いて、必要なスマートコントラクトの開発など、テゾス上の合成資産のオープンソースビルディングブロックを構築しています。構築されたビルディングブロックは、テゾスのエコシステムに組み込まれるように設計されており、一般的に使用されているトークン規格に準拠し、評判を得ている分散型取引所と相互作用するように構築されています。こうしたビルディングブロックの最初のユースケースとなるのが、プライマリーマーケットプラットフォームでの貸し借りの統合です。

Stablyは米国を拠点とするフィンテック企業です。従来の企業による暗号通貨やブロックチェーン分野への進出をサポートしています。Stablyは、ブロックチェーン、ステーブルコイン、オープンファイナンスAPIを活用したボーダーレスなネオバンキングプラットフォームによって、金融取引をより早く、より安く、より透明にすることを使命としています。Stablyはテゾスを統合して、米ドルペッグ制のステーブルコインを皮切りにテゾスブロックチェーンで次世代のDeFiアプリケーションとステーブルコインを実現しています。

Smart Contract Labsは、エストニアを拠点とするチームで、最新のプルーフオブステークプラットフォーム上のブロックチェーン製品に注力しています。チームは、ユーザーがテゾス上で合成資産を築き取引できる分散型合成資産取引所のSEXPプラットフォームをリリースし、積極的に係る作業に取り組んでいます。独自に必要なスマートコントラクトを開発したプラットフォーム上のバイナリーオプションがチームの出発点となりました。

Wealthchain Inc.は米国を拠点とする企業です。テゾス上でステーブルコイン、ペッグド・アセット、その他の金融商品を通じてテゾスエコシステムに貢献するとともに、コミュニティメンバーとして数多くの公の場に参加しています。チームは、ステーブルコイン“USDtz”の監査報告書を毎月発行するための助成金を受けました。

決済ソリューション

決済ソリューションのアプリケーション分野に対して、テゾス財団は、テゾス上で決済ソリューションを構築するプロジェクトに助成金を交付しています。こうしたサービスは、チップやリアルタイムまたは“ストリーミング”決済のような支払いのために、tezを統合または使用することを目的としています。さらに、複数の当事者が数回クリックするだけで条件付きの支払いのための略式契約を作成できる決済ツールやアプリケーションへの統合もサポートされています。

CryptoTaskは同名の最大規模の分散型フリーランスマーケットプレイスを構築しているクロアチア企業です。このマーケットプレイスでは、ユーザーが自分のニーズに最適なプロを見つけることができ、一方フリーランサーは仕事やマイクロタスクを探して即座に報酬を得られます。このピアツーピアのフリーランシング・プラットフォームには35,000人を超えるユーザーを動員しているとチームは述べています。このプラットフォームは、自動化された即時決済、非常に低い手数料、偽フリーランスや隠れたフリーランサーのレートブースト、参加者の評判をテゾス上に保存するメカニズムなどを提供しています。

Ejaraはカメルーンに拠点を置く組織です。テゾス上で構築された暗号通貨等との相互作用する、アフリカ市場向けに独自に開発されたブロックチェーンベースのモバイルプラットフォームを開発しています。一部の株式やコモディティから暗号通貨まで様々な、手頃な商品を利用できる機会を提供しています。

Hexa SolutionsはBeezプラットフォームを開発しているフランス企業です。このプラットフォームは都市や地元企業向けのホワイトラベルソリューションです。モバイルアプリケーションを介して市民に働きかけるためのコミュニケーションツールと、地元企業や市政管理者向けのダッシュボードを提供します。Hexaは、テゾスブロックチェーン上でロイヤリティとバウチャーのプログラムを導入し、企業のオーナーと市政管理者による地域の公共生活の活性化実現をサポートします。

Mt Pelerinはスイスを拠点とする公認金融仲介機関です。同社チームはオープンソースのアセットトークン化プラットフォームである“Bridge Protocol”を構築しています。また、暗号化されたファイアットのオン/オフランプやセキュリティ管理トークンの機能を備えた非保管型ウォレットである“Bridge Wallet”の開発も積極的に進めています。主力製品ラインナップ全体をテゾスブロックチェーンに公開できるよう、かかる適応作業に取り組んでいます。

Ohana Labs Pte. Ltd.はカナダを拠点とするイノベーションラボです。Frontierプロジェクトに積極的に取り組んでいます。ウォレットにtezおよびテゾスのトークン規格のサポートを追加し、Frontierアプリにステーキングを追加することで、テゾスのエコシステムに貢献しています。テゾスで構築された既存および将来のdAppsやアプリケーションが、テゾスのエコシステム全体の統合を活用できるようにすることを目標としています。

RADION FMはマッチする音楽の発見とストリーミング配信のプラットフォームとして運営される米国のウェブベースシステムです。“管理者なし”の決済方法を採用しています。RADIONはテゾスブロックチェーン上で動作させつつ、マルチメディアメタデータを持つMP3ファイルにパブリックウォレットを埋め込むことで、この決済の仕組みを音楽業界で確立し普及させようとしています。アーティストはこの決済の仕組みにより、自身の作品が誰かにダウンロードされる度に直接支払いを受けられます。

Ramp Swaps Ltd. は、イギリスを拠点とするプロジェクトです。FIATと暗号通貨間でシームレスな連携を可能とする快適なユーザーエクスペリエンスの構築に注力しています。その一環として、テゾスベースのトークンであるtezやステーブルコインを堅牢な分散型インフラストラクチャに積極的に追加し、テゾスで構築されたアプリケーションを素晴らしいユーザーエクスペリエンスで強化させることを目標としています。

Shuttle One Pte Ltd.はシンガポールを拠点とする企業です。ShuttleOne.Networkと呼ぶプロジェクトを手がけています。ShuttleOne.Networkはデジタルアセットのオン/オフランプを可能にするエコシステムと分散型アセットファイナンスのためのプロトコルを合わせたものです。チームは、最初はテストで、後にはメインネットでテゾスベースの取引のサポートに積極的に取り組んでいます。同社ソリューションは、ShuttleOneインフラストラクチャ上のB2Bおよび電子商取引の請求書/注文書に基づく送金に暗号通貨を利用しています。

PoWブロックチェーン
米国の1世帯あたりの電気代月平均

生成に必要な推定電気量



NFT



テゾス
LED電球の7秒

テゾス
アーティスト向けのサス
テナブルな
デジタル表現。

コミュニティ助成金

テゾスはデジタルコモンウェルスとなることを意図して作られました。プロトコルは、検閲への耐性がある（ネットワークを潰すことが実質不可能）トランザクション、証拠証明ベースのコンセンサスアルゴリズム、および統合されたガバナンス体系を通じたコミュニティにおける個々のメンバーの支援を意図して作成されました。協調的でオープンなグローバルコミュニティを目指してこの設計が選ばれました。テゾス財団は、世界中のコミュニティが成功するために必要なサポートを得られるように、コミュニティの開発、イベント、およびテゾスエコシステム成長に取り組む団体に資金を提供しています。2021年半ばから、エコシステム内のいくつかの事業体が各々の地域を支援するための小規模な助成金プログラムを始めており、各社で独立して連絡・管理しています。こうした取り組みが、Tezos Commons、Tezos Africa、TZ APAC、TZ Connect、そしてTezos IsraelとTZ Gulfです。



合計: 米ドル **5,720万**



Tezos Tunisia

Tezos Ghana

Tezos Kenya

Tezos Ivory Coast

Tezos Cameroon

Tezos Nigeria

Tezos Senegal

Tezos (West) Africa

BIT.SHESは米国を拠点とするプラットフォームです。NFT収集品やリソース、慈善団体への寄付の機会を通じて、ブロックチェーンや暗号コミュニティにおけるインクルージョンの促進を使命としています。チームは、ブロックチェーン関連開発の初期段階に携わる人々のグループの多様性を醸成し、高めることを目指しています。BIT.SHESはテゾスベースのNFTを介した学習とエンゲージメント体験、情報、リソース、慈善団体への寄付を提供することで、ブロックチェーンの“条件”を公平にする活動に参加する機会の提供を目指しています。

Blokhausはブロックチェーン分野に特化したマーケティングコミュニケーショングループです。他のカテゴリーとは異なり、ブロックチェーンと暗号通貨のプロジェクトは並外れた速度で急進し、これまで以上に大衆文化と技術の融合を実現しています。Blokhausは、テゾスのエコシステムにおけるプロジェクトやブランドがユーザーの共感を呼び競合を凌駕するために必要なサービスを提供しています。

Moku.Techチームは、オンラインフォーラムでTezos Japanのコミュニティと交流し、プロジェクトの最新情報をソーシャルメディア・チャンネルに公開して日本におけるテゾスの普及に貢献しています。その一環として、地域向けにニュースをローカライズする作業のサポートを行っているほか、ミートアップやオンラインセッションを開催し、エコシステムメンバーとのコミュニティを拡大しています。

New Vectorはイギリスを拠点に活動し、Riotコミュニティのチャットチャンネルを開発して、Tezos Riotチャンネルのカスタムブランドを確立しています。他のユーザーから運用上隔離された、独立Tezos Riotサーバーを運営しています。

Nomadic Labsは、テゾスの開発に加えて、拠点地域のエキサイティングなプロジェクトにおいて事業開発や企業支援の事業体としても活動しています。チームは、フランス、ルクセンブルグ、ベルギーで技術サポートを提供し、企業や機関 (Banque de France、Société Générale、BNP Paribas、EDF、Ubisoftなど) のビジネスニーズに対応し、テゾスブロックチェーンの利用をサポートしています。2021年に立ち上げられたLughといったプロジェクトへの貢献も取り組みの一つです。

Norn CommunityのTezosNotifierBotは、トランザクション、委譲、不足しているブロックの承認、ダブルベークキングなど、テゾスブロックチェーン上のさまざまなイベントを監視するために使用される評判のTelegramボットです。この助成金により、Norn CommunityはTelegram向け@TezosNotifierBotを改善・機能追加しているほか、ますます多くのチャンネルにもサポートの手を広げています。

Proof of Stake Allianceは米国を拠点とする組織です。この分野のソートリーダーを集めています。PoSに基づく最初のブロックチェーンの一つとしてテゾスを利用してエコシステムのチームと積極的に協力し、ニーズを理解して、PoS関連技術のサポートと成長を目的とする統一見解として活動しています。

Tezos Brazilはビジネス、製品、コミュニティの開発に関わるチームです。これらのイニシアチブを通じて、Tezos Brazilは、大陸規模の国でテゾスプロジェクトとエコシステムの導入と成長を促進しています。

Tezos Cameroon、Tezos Ghana、Tezos Nigeria、Tezos Senegal、Tezos Tunisiaはアフリカ地域全体でテゾスを積極的に普及させている支部です。各チームは、互いに緊密に連携を取りながら各々の市場に注力し、テゾスのプレゼンスを高めています。手始めに、コミュニティの構築、ソーシャルメディアでのプレゼンス強化、地域でのベーキング活動の構築に注力しています。また、地域でのビジネスや機会を増やすために、現地の開発者がテゾスでの構築を始められるよう支援・教育していくことも重要な点です。チームは、この地域でのテゾスでの製品開発の経験を通じて現地のチームを育成しているTezos West Africaと密接に連携しています。

Tezos Commonsは、米国に拠点を置く非営利財団です。教育プログラム、教育メディア、Tezos LaunchPadの運営やイニシアチブをサポートするなど、数々のテゾスプロジェクトに貢献しています。テゾスの様々な組織と協力し、Kukai、Tezos Help、Tezos Agoraなどの各種プロジェクトを支援しています。チームは拡大を続けており、ハッカソンなどのコミュニティプロジェクトに貢献し、メディアを通じたエンゲージメントにも積極的に取り組んでいます。

Tezos Gulf TechnologiesはUAEおよび中東を中心に活動しています。助成金は活動拠点に企業を設立し、この地域におけるエコシステムの発展を支援するのに使用されます。そのために、中東全域のテクノロジーハブと提携し、官民連携を進めるために積極的に働きかけていきます。

Tezos Indiaは、テゾス使用を望む個人や組織を支援することで、世界最大のデモクラシーを支えています。個人や組織がテゾスを利用できるように支援・トレーニングを行い、インドでのコミュニティ活動を企画し、支援しています。さらに、国全体のテゾスコミュニティを成長させるために、ハッカソンやウェビナーの開催をサポートしています。

Tezos Israelは、テゾスエコシステムのために先進的なブロックチェーン技術を構築すると共に、開発者を教育・訓練してイスラエルのコミュニティに貢献しているイノベーションラボです。イスラエルのハイテクエコシステムや政府機関において、テゾスブロックチェーン技術の認知度を高め、統合することを使命としています。

Tezos Ukraineは、ウクライナのブロックチェーン支持者と業界のエキスパートが運営する非営利団体です。ウクライナと東欧におけるテゾスネットワークの成長と強化を促進しています。テゾステクノロジー開発者のためのトレーニングコースの開発と実施をサポートし、ハッカソンやミートアップを開催するなどの取り組みを行っています。

また、Tezos Ukraineは、ウクライナで持続可能なテゾスコミュニティを構築することを目的としたコミュニケーション戦略を導入しています。

Tezos (West) Africaは、西アフリカにおける活気あるテゾスコミュニティの成長を支援し、ミートアップや地元技術カンファレンスを利用してテゾスブロックチェーンに関する認知度の向上に取り組んでいます。現地の開発者を対象とした体系的なテゾス入門トレーニングをベースに、カメルーンを拠点とするチームは他のチームによる現地開発者のトレーニングや企業のテゾス構築をサポートすることで、アフリカ大陸における戦略をリードしています。

Tezos Koreaは、韓国の大学と協力してイベントを主催し、教育を提供し、技術開発をサポートする非営利組織です。Tezos Koreaは、ビジネスコンサルティングを担当し、韓国でのテゾス導入を進めています。



TZ Connectチーム

TQ Tezosは、ニューヨーク市に拠点を置く組織で、テゾスの導入とマーケティングの取り組み、認知度の向上に焦点を当てています。テゾスベースの企業・開発者向けソリューションやオープンソースソフトウェアの構築のほか、ビジネス開発にも従事し、スタートアップ企業や大手企業が様々な興味を引くユースケースでテゾスを採用するサポートをしています。TQ Tezosは、Truesy、Interpop、Blokhausなどのエコシステムの組織と共同して行うイベントやエコシステム開発のイニシアチブで、コミュニティメンバーと緊密に連携しています。

TZ APAC Pte. Ltd. (“TZ APAC”) は、アジアを拠点にテゾスエコシステムをサポートする大手パブリックブロックチェーンコンサルタント企業です。シンガポールを拠点とするTZ APACは、ブロックチェーンの専門家やテゾスエコシステムの他のステークホルダーと密接に協力しながら、ボトムアップアプローチで企業やクリエイターのための付加価値のあるブロックチェーン変革戦略を策定しています。

TZ Connectはベルリンを拠点とするチームです。オープンソースソフトウェアの構築、テゾスを基盤とするプロジェクトや企業へのサポートの提供、世界のテゾスコミュニティとの連携により、テゾスのエコシステムを推進しています。TZ Connectは、インクルージョン、アクセシビリティ、そして機会均等を大切にしており、アイデア、スキル、そして物事を成し遂げようとする意欲を持つ人であれば誰でも、不必要で煩雑な妨げを受けることなく成し遂げられると考えています。

XTZ Newsは米国に拠点を置く主要チームです。テゾスに関する最新情報やニュースを世界に配信するために活動しており、エコシステムの事業体との協働に積極的に取り組んでいます。ニュース活動のほか、テゾスコミュニティ全体に関連性の高い情報を明確かつ簡潔に提供するために、ウェブサイトを継続的に改善しています。

産業への活用



産業への活用 ー協業の推進

テゾスプロトコルの成長と活用を促進するために、テゾス財団は企業や機関と協力して、実際に使用できる製品の創出をサポートしています。

そのようなサポートの中で特に重視しているのが、協力する企業・団体のテクノロジーへの理解を深め、どのテクノロジーアプリが重要になるのかを見極めることです。また、必要に応じて、プロジェクトに資金供給を行います。

デジタル証券

Allianceは英国マンチェスターの大手不動産デベロッパーです。tZeroやデジタル証券アドバイザーティックのMegalodonといったパートナーと協力し、テゾスブロックチェーンで英国の不動産トークン化を目指しています。同社初のデジタル証券プロジェクトであるRiver Plazaの開発がマンチェスター中心部で現在進められています。

Andra Capitalのオープンエンド型ファンドは、ブロックチェーン技術を活用することで、従来のベンチャーキャピタル投資とデジタル証券の常識を覆します。この投資信託が投資するのは、5億米ドル以上の価値の世界クラスのベンチャーキャピタルに支えられ業界をリードする、後期段階の大手民間テクノロジー企業です。

Reit BZは、中南米最大の投資銀行**BTG Pactual**が後ろ盾となっているブラジルのプロジェクトです。Reit BZ (RBZ)と呼ばれるセキュリティトークンを使って、国外投資家は成長し続けるブラジル不動産市場にアクセスできるようになります。RBZトークンは、主にサンパウロやリオデジャネイロのディストレスト不動産資産に支えられています。株主に対する配当支払いのように、RBZトークンの所有者には前述のディストレスト不動産資産の価格回復から定期的に配当が支払われます。RBZのセキュリティトークンでは、テゾスがデフォルトのブロックチェーンとして使用されています。

Draper Goren Holm (DGH)は、ティム・ドレイパー、アロン・ゴレン、ジョセフ・ホルムのパートナーシップで設立された、ロサンゼルス拠点とするベンチャースタジオ兼ファンドです。2021年4月に、DGHはテゾスブロックチェーンに構築されたスタートアップ企業をインキュベートし、推進する計画を発表しました。そうしてテゾスシステムでの初期の頃からエコシステムを長期的にサポートすることになります。

金融市場当局のBaFinが規制管理するドイツ初のデジ

タル証券を立ち上げた**Fundament**は、**Own Capital**へのリブランディングを含むリストラを行いました。テゾス財団は金融契約を終了しており、Own Capitalとの関係はありません。

Globacapは、ロンドンを拠点とする大手デジタル証券の発行および管理プラットフォームで、英国の金融行動監視機構 (FCA) の監督下にあります。Globacapは、多くのデジタル証券取引所のパートナーでもあり、ブロックチェーンベースのデジタル証券のキャップテーブル管理と流通市場を提供しています。Globacapを介して発行されるの優先基盤ブロックチェーンとしてテゾスが上がっています。

Logical Picturesは、コンテンツ・ファイナンス、映画制作、人材育成に精通したフランス企業です。BNP Paribasとの協働により、映画やシリーズ作品に特化した投資ファンド“21 Content Ventures”を立ち上げ、視聴覚コンテンツ市場の成長を活用する機会を提供しています。この度の資金調達には、パブリックブロックチェーンのテゾス上でのSTOの形式で行われます。エンターテインメント業界では欧州初の試みです。

Taurus GroupはFINMA認可を受けたスイスの証券会社です。欧州の銀行などの企業にデジタル資産の管理、取引、マーケットメイクを提供しています。Taurusはテゾスをブロックチェーンのテクノロジーパートナーとして推進すると共に、プラットフォーム上のデジタル証券発行のブロックチェーンとして統合しています。

Vertaloは、ブロックチェーンテクノロジーを使用してデジタルアセットエコノミーを接続および有効化するキャップテーブル、コンプライアンス、投資家向けのプラットフォームです。Vertaloは、SECに登録された証券代行エージェントとして、民間企業、ブローカーディーラー、投資家の資産管理を継続的にサポートし、顧客向けの標準ブロックチェーンとしてテゾスを使用します。

決済

Baanxは、ウォレットやペイメントレールなどのモバイルバンキングアプリケーション向け専有技術プラットフォームを開発し、サードパーティのディストリビューターとして運営しています。Baanxは英国で電子マネーライセンスを保持しています。コア製品は、Baanxの分散型暗号通貨バンキング、為替、および支払いシステムのホワイトラベル業務です。Baanx製品の中には、すでに30か国で発行されている、物理的なカードおよび仮想VISAデビットカードオプションを備えた暗号通貨モバイル決済アプリも含まれています。テゾスは支払

い通貨として統合されます。 デジタル資産プラットフォーム

Bitcoin Suisseは、XTZのためにカスタディソリューションを開発し、その主な提供物にステーキングやデリゲートのオプションを含めました。さらに、同社はFA1.2 トークン規格に基づいたtzBTCトークンをサポートし、子会社のSwiss Crypto Tokensを通じて新しいトークンが発行された時にコミットされるビットコインの保管を管理します。さらに、テゾス財団は2020年7月末に完了したシリーズAの資金調達に参加しました。

The **Elevated Returns Exchange (ERX)** は、テゾスを基盤ブロックチェーンとして使用したAlpha Point上にビルトされています。タイ証券取引所 (SEC) の承認を既に受けており、投資家に投資トークン売買の場を提供します。

Equisafeはテゾスを使用して、セキュリティ、トレーサビリティ、リアルタイムの更新を提供し、非上場企業の議決権や株主の登記を管理しています。金融資産をトークン化し、テゾスをベースにした共有電子記録ソリューションでデジタル資産を作成・維持するためのプラットフォームを提供し、ベーカーを通じてエコシステムをサポートしています。

Securitizeは、ファンド、株式、債券、不動産などを対象にしたデジタル証券作成に信頼できるグローバルソリューションを提供するプラットフォームです。Securitizeは自社の製品にテゾスを統合して、世界中の発行者が利用できます。

StakerDaoは分散型形式によりブロックチェーン上でデジタルトークンを発行し、ラップするためのプラットフォームです。このプラットフォームでは、テゾスブロックチェーンやQuipuSwapなどの複数のブロックチェーンやベニューで、デジタルトークンの流動性プールやリワードファーミングを行えます。2020年半ばには、StakerDaoプラットフォームのガバナンストークンであるSTKRトークンがテゾスブロックチェーン上に登場しました。

メンバーシップ、協会、企業インフラストラクチャ

Capital Markets and Technology Association

(CMTA)は、スイスの金融、技術、法律の各分野の主要関係者によって設立された独立した協会で、分散型台帳技術 (DLT) を利用したトークン形式の証券の発行、流通、取引に関する共通基準を策定しています。資本市場の分野でDLTの利用を促進することを目的としています。テゾス財団は、企業のテゾス採用を推進するため、tez貸付を通じて**企業ベーカー**を支援しています。このサンドボックス型ローンにより、企業はテゾスに触れ、開発者を教育する機会を得ることができます。

DLT Education Consortiumは、分散型台帳技術とデジタル資産のための世界的なパスポートで、ブロックチェーン業界で働く人のためのベンチマークとなる業界標準です。DECは、DLTの研究・教育を行っている主要な大学・機関のコンソーシアムによって設立されました。

OpenVASP Associationは、メンバーのニーズや要求に基づいて、プロトコルとそのエコシステムを発展させることを目的とした非営利団体です。仮想資産サービスプロバイダー (VASP) と他の当事者との間で取引情報を伝達するためのオープンなプロトコルを確立し、維持することを目標としています。

Bitcoin Association Switzerlandは、活発な愛好家のコミュニティで、定期的にイベントを開催し、未解決の法的な疑問を解決しようと努めたり、メディアからの問い合わせ窓口を提供して一般の人々を啓蒙したりしています。

Multichain Asset Managers Association (MAMA)

は、ブロックチェーン技術による資産運用の変革を目指す組織のグローバルコミュニティで、Paris Blockchain Week SummitやSingapore FinTech Festivalなどの様々なイベントを年間を通して開催しています。

Swiss Blockchain Federationの目的は、ブロックチェーンを使った活動の場としてのスイスの魅力をアピールし、安全で競争力のある法的枠組みの構築を推進することです。Swiss Blockchain Federationは、ブロックチェーン分野、政治・経済分野、科学界、公共分野からの関係者で構成されている官民パートナーシップです。

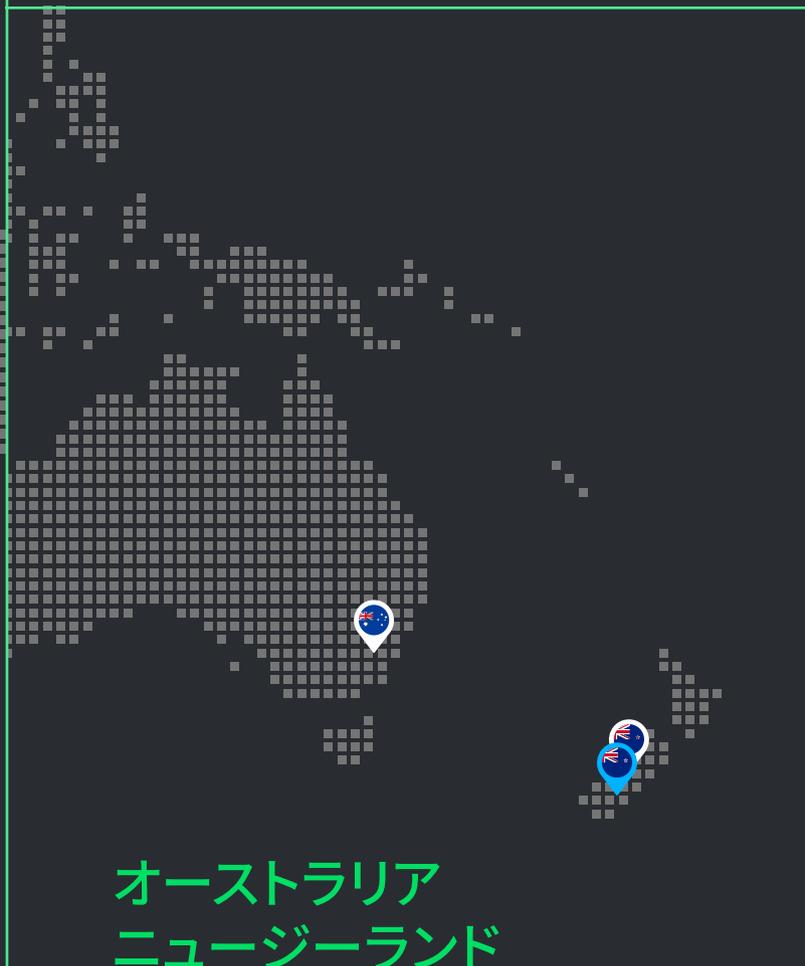
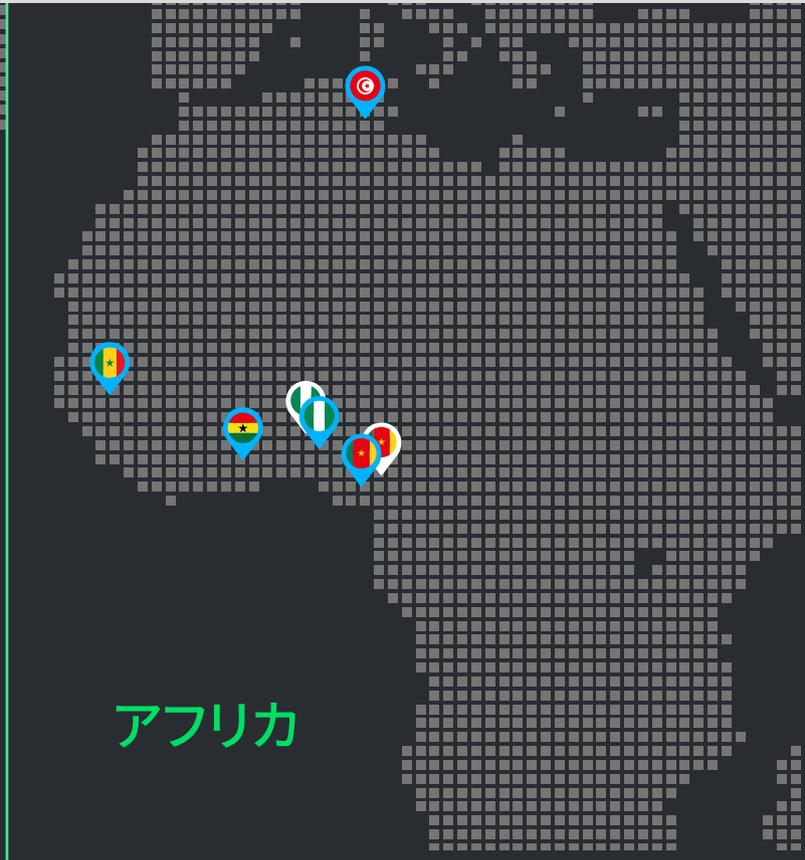
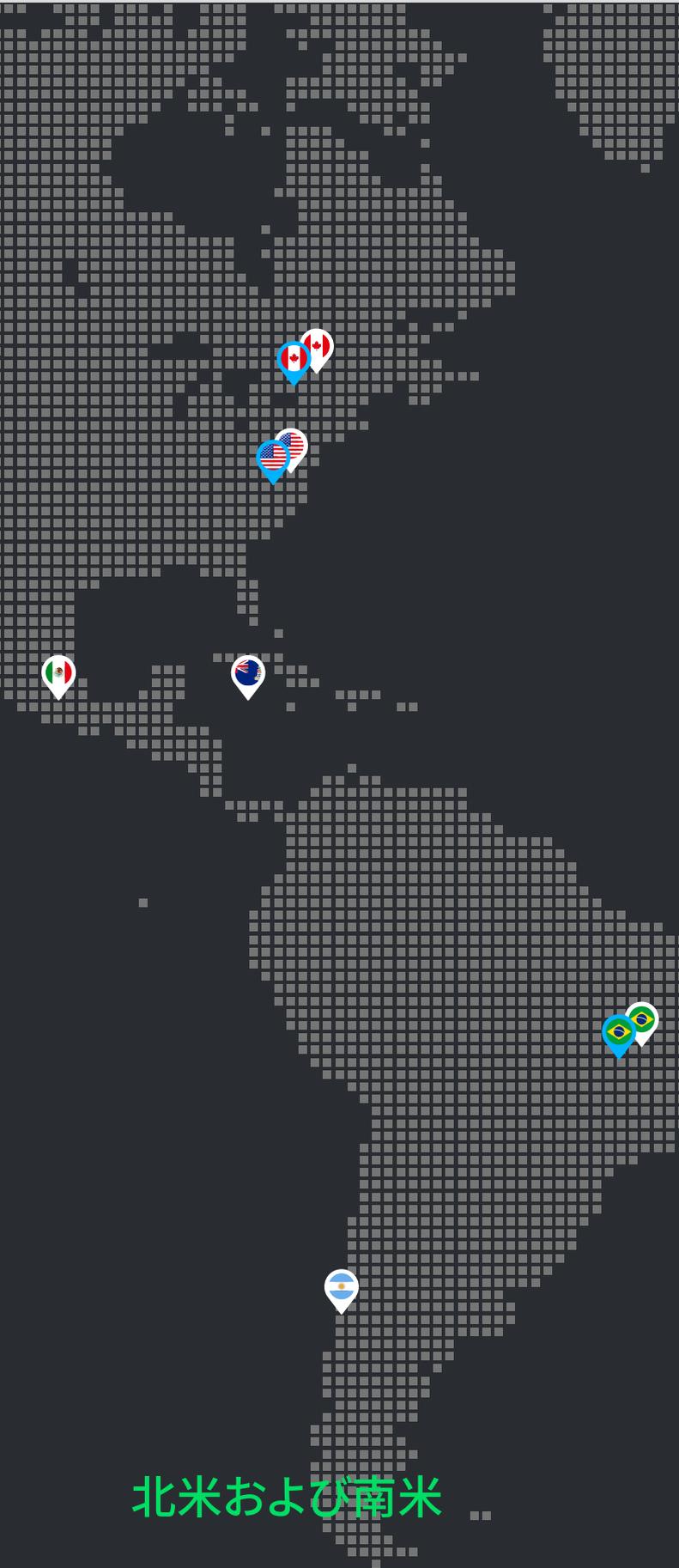
テゾス エコシステムの 世界地図

アジア

 助成金
期間中のアクティブな助成金

 パブリックベーカー
Blockwatch Data、2021年7月31日現在

欧州



ファイナンシャル



ファイナンシャル

この6か月間は、テゾスでの新たなプロジェクト、ユースケース、採用計画に鑑みると、テゾス財団は非常に大きな成功を収めました。過去6か月間の助成金やソフトウェア契約の執行額が、前期比でおよそ4倍に増えたことからそのことがわかります。

この期間中に財団の金融機能で実行された、暗号通貨での取引を含める主要な不換通貨 (fiat) での助成金受給者への支払件数は500件を超えました。結果、財団の事業活動の指標となる元帳の数は増加の一途にあるため、財団はプロセスの自動化に多大な投資を行っています。自動化されたプロセスで特記すべきは、ブロックチェーンから実際の決済を直接取得し、当社の会計ツールで使用できるよう読み取り可能なファイルにコンパイルすることで、暗号取引の帳簿管理を行えるようになったことです。

2021年6月、2020年度会計についてPricewaterhouseCoopersによる外部監査を受けました。今回で監査実施は4度目になります。今回は、フランス、ドイツ、シンガポール、ドバイの間接子会社を含むテゾス財団グループの、現地の会計基準に基づく法定財務諸表ならびに中小企業向け国際財務報告基準 (IFRS for SMEs) に基づく連結財務諸表が監査の対象となります。

ここ数か月、世界中の暗号通貨市場では非常に不安定な状況が続いています。そうした状況にもかかわらず、6か月前と比較して総資産が安定していたことは、テゾス財団にとって非常に喜ばしい結果です。特に注目すべきは、この期間に、安定化基金が世界中の荒れ模様の市場に反応することなくその目的を果たしていたということです。以上が、財団が1,400万米ドルも価値を高められた理由です。

主要な指標データ

2021年7月30日時点の保有資産の市場価値は12億1200万米ドル（参考：2021年1月31日時点の資産11億7600米ドル）です。テゾス財団の暗号通貨資産は主にBitcoin (BTC)とTezos (XTZ)で保有され、複数の安全な保管ソリューションで管理されています。2021年、テゾス財団は引き続き、長年にわたり成功を収めてきた特定の助成金受給者にXTZを割り当てるイニシアチブの強化に努めました。参加に報いるとともに、今後も長くテゾスエコシステムに貢献してもらうためのものです。

テゾス財団は自己の流動性ニーズに適切に対応するため、スイスの銀行に債券、ETF、コモディティなどの流動資産を保有し、リスクに配慮した多様なポートフォリオを保有しています。さらに、管轄区の複数銀行から認可を受けています。66%が米ドル、14%がユーロ、11%が英ポンド、7%がスイスフラン、2%がシンガポールドルで構成されています。その他の資産は、主に戦略的株式、負債投資、またはイーサリアムのような暗号通貨です。

(百万米ドル)	2021年7月30日	%	2020年1月31日	%
現金 (フィアット)	61	5%	47	4%
Bitcoin (BTC)	601	50%	600	51%
Tezos (XTZ)	243	20%	258	22%
安定化基金	226	19%	212	18%
その他の投資	81	6%	59	5%
資産の市場価値	1,212		1,176	

白熱電球1個をLEDに切り替えると、
テゾスでの1,000回の取引で使用される
年間CO2量を補えます。

この数字は、2020年のペーカー
と取引の予測に基づいて算出し
ています。



テゾス
サステナブル
決済。

ガバナンス ステ ゾス財団の理 事会と委員会



ガバナンステゾス財団の理事会と委員会

テゾスコミュニティのテゾス財団の組織とガバナンスに関する透明性向上のために、テゾス財団の組織の機能と責任を以下に示します。

財団理事会

理事会は、財団とその資産の監視と管理、運営、および財団の戦略決定における包括的責任を負っています。その憲章に従い、財団理事会は運営および資産管理の任務を財団の執行委員会に委任しています。財団理事会は、自らで理事を任命し、構成します。現在、財団理事長を含む9人の理事で構成されています。

監査委員会

監査委員会は、財務諸表や税務など財団の財務報告および事業報告を監視する組織です。監査プロセスには、財団の法定監査人 (PwCスイス) の活動、妥当性、有効性の確認があります。

執行委員会

執行委員会は、財団の運営および資産管理の任務を財団理事会から委任されています。さらに、執行委員会は理事会の決議を実施し、財団の目的を促進する投資決定に対して一定の責任を有しています。

投資委員会

投資委員会は、通常の助成金や通常の資産管理以外のあらゆる財団の投資について、財団理事会 (IC) と執行委員会に推奨とアドバイスを行う組織です。

技術諮問委員会

技術諮問委員会 (TAC) は、テゾスプロトコルのすべての技術的問題について、財団理事会と執行委員会に勧告と助言を提供するために設立された組織です。TACにはテゾスコミュニティの外部委員が含まれます。

指名・報酬委員会

財団理事会は最近、新会員を評価して財団理事会に提案する指名・報酬委員会を設置しました。また、財団の報酬モデルを定期的に評価することも同委員会の任務です。

財団理事会

テゾス財団理事会は、テゾスプロトコルとエコシステムをサポートするため、テゾス財団を率いる経験豊富な専門家で構成されています。各理事が、それぞれの分野の専門知識と見識を提供します。世界中から集まったユニークで経験豊富な理事の全員で理事会を形成しています。



フベルトス・トーンハウザー
委員長

フベルトスは、ファミリーオフィスの支援を受けているVC会社でドバイを拠点とするハイテク企業ビルダーのEnabling Futureの共同設立者です。また、MENA地域をリードするモバイルゲームパブリッシャーBabil Games (2016年にスティルフロントグループが買収) を立ち上げた創設者の一人です。2010年以前は、規制デジタルゲームとカジノの分野で欧州市場をリードするCasinos Austria Groupで経営幹部職と取締役を務めました。



アレクシス・ボンテ
財団理事会理事

アレクシスはStillfront Group内のオンラインゲーム会社eRepublik Labsの共同創設者兼CEOで、またStillfront GroupのGroup COOです。Atomicoの元ベンチャーパートナーでもあり、いくつかのインターネット企業やゲーム企業では理事を務め、エンジェル投資家として資金援助も行っています。フランスとポルトガルにルーツがあり、ヨーロッパビジネススクール (ロンドン) で国際ビジネス・言語学を修め、優等学士学位を取得しています。



アーサー・ブライトマン
財団理事会理事

アーサー・ブライトマンはテゾスの初期のアーキテクトです。以前は、Google XやWaymoでは研究エンジニアとして、ゴールドマン・サックスやモルガン・スタンレーでは定量分析アナリストとして活躍していました。アーサーは、École PolytechniqueとCourant Institute of NYUを卒業しています。応用数学を専攻していました。



アリス・ロイド=ジョージ
財団理事会理事

アリスは、創業初期のベンチャーファンドRogue Capitalの創設パートナーです。2013年以降、ゲーム、ブロックチェーン、機械知能、コンピュータビジョン、ロボット工学、仮想現実・拡張現実、NewSpaceなどの分野における新興技術とインターネット文化にいち早く注目し、それに投資し続けています。理事に就任する前は、RRE Venturesのポートフォリオ会社12社における取締役とオブザーバーを務め、Bridgewater Associatesの投資家、北京とワシントンにあるBrookings Instituteの研究員、Wall Street Journalの香港駐在記者などを務めた経験があります。



ラーズ・ハウスマン
監査委員会委員長

ラーズは、Hausmann Treuhand AGの企業管理および管理責任者です。1999年、Hausmann Treuhand AG入社。以来、厳しい複雑な局面も含めて、会社経営、経営管理、財務の分野において様々な要職を歴任してきました。スイス出身のラーズはチューリッヒ大学で経済学を修めています。また、スイス公認勅許会計士の資格も有しています。



オリヴィエ・ジェロン
財団理事会理事

オリヴィエはフランスの大手保険会社であるLa Parisienne Assurancesを前身とするWakamのチーフエグゼクティブ兼イネーブルメントオフィサーを務めています。同社はカスタマイズされたホワイトラベルの保険商品をヨーロッパ中のブローカー、インシュアテック企業、非保険代理店に提供しており、その総収入保険料は3億8,200万ユーロに上ります。オリヴィエはemlyonビジネススクールを卒業し、SDA Bocconiで国際経済・経営学の修士号を取得しています。また、著書に“The Intangible Age”があり、私たちの社会が所有経済から共有経済へと移行している過程について書いています。



ダニエル・マスターズ
財団理事会理事

ダニエルはCoinSharesグループの共同創業者であり、現在も会長の職にあります。CoinSharesグループは世界の投資家からの委託を受けて膨大な額の資産を運用する世界有数のデジタル資産投資会社です。また、世界初の規制ビットコインファンドをローンチし、主に原油とコモディティを扱う投資企業Global Advisorsを創立しました。新たな資産クラスの開発では30年以上もの実績をもつダニエルは、デジタル資産エコシステムで一目置かれる有名人です。独立する前には、JPモルガンでエネルギー&トレード部門のグローバルヘッドを務めた経験もあります。英国出身のダニエルは、物理学と統計学の学位を取得しています。今の時代を生きるトレーダーのなかでも、石油取引の成約件数では自分の右に出るものはないと自負しています。



ア Nil・マッドハバペディ
財団理事会理事

ア Nilは、ケンブリッジ大学コンピュータ研究所の大学講師（准教授）として、コンピューターシステムとプログラミング言語の接点を研究しています。ア Nilは25年以上にわたってオープンソースソフトウェアに幅広く取り組んでおり、その研究は数多くの商業団体にもスピンアウトして行われてきました。ア Nilは、ハイパーバイザーのXen（2007年にCitrixが買収）を作ったチームの一員であり、Unikernel Systems（2016年にDockerが買収）を設立しました。また、2012年からはOCaml Labsグループのディレクターも務めています。



クリス・ライト
財団理事会理事

クリスは、オープンソースソフトウェア企業、Red Hatのシニア・バイス・プレジデント兼最高技術責任者（CTO）です。同社は、2019年にIBMに買収されました。CTOとしてクリスは、Red Hatを単一製品を取り扱う事業から、グローバル企業の顧客がアプリケーションを拡張し、あらゆる種類のクラウド環境で新技術を展開するための基盤へと移行するのを支援しました。クリスは、オープンソースソフトウェアに情熱を注いで取り組んでおり、業界で25年過ごしたうち20年は、オープンソースに従事してきました。

財団委員会

執行委員会

フベルトス・トーンハウザー
財団理事会理事長
(臨時執行委員)

ローマン・シュニダー
最高財務責任者/オペレーション責任者

投資委員会

フベルトス・トーンハウザー
委員長、財団理事会理事長

アリス・ロイド=ジョージ
財団理事会理事

ローマン・シュニダー
テゾス財団

監査委員会

ラーズ・ハウスマン
委員長、財団理事会理事

フベルトス・トーンハウザー
財団理事会理事長

ダニエル・マスターズ
財団理事会理事

ニコラス・ホーフステッター
テゾス財団

ローマン・シュニダー
テゾス財団

技術諮問委員会

ミシェル・マウニー
委員長、Nomadic Labs会長

ブルノ・ベルナルド
Nomadic Labs

ベンジャミン・カノウ
Nomadic Labs

古瀬 淳
ダイラムダ

ルイス・ゴンザレス
Tezos Commons

アニル・マッドハバペディ
財団理事会理事

ウェイン・チャン
Spruce Systems

スコット・リトルウッド
TZ APAC

ジョン・ニュービー
TZ Connect

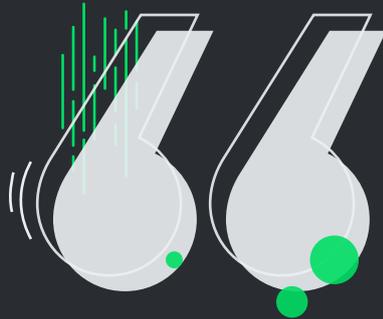
ワリード・ラッサーリ
Tezos Gulf

指名・報酬委員会

フベルトス・トーンハウザー
委員長、財団理事会理事長

アレクシス・ボンテ
財団理事会理事

ラーズ・ハウスマン
財団理事会理事



私たちが目指すのは
世界中の個人や
団体組織をサポートし、
堅牢かつ分散型のデジタル
コモンウェルスを作り出すことです。

テゾス財団

tezos.comでテゾスのプロジェクトに参加しましょう
テゾス財団について詳しくは、tezos.foundationをご覧ください

テゾス財団は、スイス非営利財団です（所在地：Dammstrasse 16, 6300 Zug, Switzerland）。テゾス財団は、スイス連邦内務省に属するスイス連邦財団監督局の監督下にあります。特にテゾスプロトコルと関連技術の促進と開発を含む、新たに開かれた分散型のソフトウェアアーキテクチャの分野における、新しい技術とアプリケーションの開発促進を活動の目標としています。本半期更新活動報告書は、SFSAIによるテゾス財団の公式活動報告書ではありません。本半期更新活動報告書はあくまで、誠実に一般的な情報提供のみを目的に公開されている資料です。テゾス財団は、本書に記載されている情報の完全性、信頼性について、いかなる保証もいたしません。特に明記のない限り、本半期更新活動報告書に記載されるすべてのデータ、情報、および写真は、テゾス財団が作成し、知的財産として所有しています。